

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-124)、
廃棄物管理施設(99)、MOX燃料加工施設(2-81))」
2. 日時：令和5年11月30日(木) 13時30分～18時15分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
古作企画調査官、大岡主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全
審査官、山口係員
日本原燃株式会社 再処理事業部 新基準設計部 部長 他7名
5. 要旨
 - (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から令和5年11月24
日及び11月28日の提出資料に基づき、評価要求と構造設計等の設計項
目の整理(竜巻、竜巻以外の外部衝撃、溢水及び化学薬品)について確認を
行った。
 - (2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
 - ・評価要求と構造設計等の設計項目の整理については、基本設計方針間及び
条文間の紐付けを体系的に整理するとともに、具体的な構造設計等の説明
への展開を見据え、各設計項目の説明内容を拡充する。
 - ・溢水防護については、上記に加えて、溢水により機能を損なうおそれのあ
る機器等や屋外の溢水源とする機器等の選定に必要な母集団の範囲、使用
済燃料貯蔵プール・ピット等の地震時におけるスロッシングに対する設計
方針と評価条件との関係、漏えい検知及び隔離に係る設計方針等を整理す
る。
6. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年11月24日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年11月28日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	了解しました。
0:00:05	はい。
0:00:07	はい。
0:00:09	本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、
0:00:22	資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:26	山崎清町側の出席者を紹介いたしますと班長会議室からアライをオカヤマグチ。
0:00:33	その他WEBからコサクフジワラ以上になります。
0:00:38	それでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割アプリの構成を説明して資料の説明を開始してください。
0:00:48	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:52	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:55	またSteeringチームより、
0:00:58	イシグロタカヤイシハラ。
0:01:01	サポートメンバーといたしまして、ツマキ関係で、タナカ、
0:01:05	外傷その他関係で、シミズ、
0:01:08	一声薬品関係で、タナカフジベ。
0:01:12	再処理側から事務局参加させていただいてございます。
0:01:17	本日ご確認いただきます資料ですけれども3種類ございまして、まず一つ目が、竜巻防護に関わる評価要求と構造設計等の設計項目の整理について、
0:01:29	二つ目ですけれども、再処理説明グループ1の関連条文、竜巻以外の外部衝撃に関わる評価要求と構造設計等の
0:01:39	設計項目の整理について、
0:01:41	三つ目、溢水及び化学薬品漏えいの防護に関わる評価要求と構造設計等の設計項目の整理について、以上三つの資料のご確認をいただきたいと思います。
0:01:54	それでは、竜巻側から説明を開始させていただきます。説明の方よろしく願います。
0:02:02	はい。日本原燃、肥後でございます。
0:02:05	竜巻防護に関わる評価要求と、構造設計等の設計項目の整理についてということで、前回11月17日のヒアリングのコメントを踏まえまして、資料修正化した箇所はもう青字で示してございます。

0:02:21	すべてちょっと紹介するわけじゃないんですけども例えばコメントとして、上流側の要求を受けて、記載しているものっていうのは、親子訳を、孫と繋がりがわかるように記載をしております。
0:02:35	あとはちょっとトピックス的にちょっと名を、
0:02:39	知った方がいいかなと思うのが、18番で、前回こちらの記載は、建物構築物側にですね、寄せて、機器配管のですね、
0:02:51	配置についても記載して、建物5フカワの開口部について、両者をここに記載するというような整理していたんですけども、主語側の防護対象ということも踏まえてですね、
0:03:02	屋内の機器配管と建物構築物にそれぞれ振り分けた記載とツツミしてございます。
0:03:10	その他、34番と35番で、
0:03:17	意味で言うと、
0:03:19	19ページになりますが、1ページ11ページの方が、前回こちらの共通設計ということで、竜巻、
0:03:29	防護ネット等、5番のところで、
0:03:35	共通するところについて、共通設計という形で書いていたんですけどちょっとやはりわかりにくいところもちょっとございましたので、個別に丁寧にちょっときっちり書くような形で修正してございます。
0:03:51	あとはですね
0:03:54	一部、すいません今回ちょっと修正が必要と思いながら修正できてなかったところが一つございまして、
0:04:02	4ページのところで、
0:04:04	これNo.10のところで、
0:04:08	このような形ですね、8条の火山の基本設計方針を受けてっていうところで、降下火砕物の粒子の衝突に対する設計を示すっていうの10番に入っているところなんですけど、
0:04:21	火山の方、破損以外の大小関係の火山のところ、こちら
0:04:27	17番から21のところと同じような記載がなされていて、こちらでは竜巻の条文でいうと、13から22号、
0:04:37	2飛ばすような形で記載をしております。
0:04:43	その他の区長以外の代償能でいうと28から29ページにかけて、
0:04:48	このような記載があるんですけども、受け手側の方の竜巻側ではNo.10で減るような、ちょっとそういうところで少し違うふうになってしまっていると。

0:04:59	夕飯のところですか。カナザワの粒子の話はもう完全に竜巻飛来物の中で崩落されますので、女性側で受けるんでも良いように思うんですけどちょっと、より丁寧な農業系を行うと。
0:05:14	いう観点で、個別にも付けする方向で修正する予定としております。
0:05:22	と、これ最後なんですけど、
0:05:26	今回のコメントとは直接は×衛藤関連はしないんですが、10ページの34番のところ、
0:05:36	こちらの発クボタつの基本設計方針のところ青字になってるところがあるかと思うんですけども、Cポツのところ平松コウ5番は、換気機能に影響を与えない設計とするというところ。
0:05:48	これまで排気機能っていうふうにしたんですが、排気と吸気カノウにです影響を与えてはならないということで、以前のヒアリングでも、この言及があったかと思うんですけど、
0:05:59	と間機能という形で修正させていただいております。
0:06:03	あとそれともう一つ、6ページですが、
0:06:07	こちら18番の業績方針のところにもまた青字で、そちらの追記したものでございますが、設計飛来物の衝突による影響に対しては1相の考慮またはという形で、
0:06:21	こちらワンフレーズちょっと追加させていただいております。
0:06:24	こちら特段今までの設計に変えるということじゃなくて、ボックスとの記載と整合をとっては記載にしております、いわゆる建物の中に配布する場合でも、
0:06:36	区画された違う部屋に、
0:06:41	防護対象施設があるなどした場合でも、安全性が保たれるということで、それについて記載した後のものでございます。
0:06:52	それ雑駁ではありますが、説明としましては以上になります。
0:06:59	はい。規制庁の荒井です。説明どうもありがとうございました。
0:07:02	前回大きなコメントとしては、親と子当間元、ひ孫ぐらいまで、普通に出てくると思うんですけども、
0:07:13	その紐づけっていうのは大体できてきてるのかなと思っています。
0:07:19	それでは
0:07:22	先ほど説明のあった、
0:07:26	基本設計方針を直すっていうところなんですけども、18番ですかね。
0:07:32	配置上の考慮を、またはって入れていて配置上の考慮を入れてるっていうところを大きな、下変更点を貧困っていうか追加した部分なのかなと思うんですけども。

0:07:45	例えばMOXと再処理の違いとして、再処理では、配置上の考慮と防護設備を組み合わせて防護するっていうものはないんですかね。
0:07:58	ある一つ野瀬設備単位。
0:08:01	対して、
0:08:08	この部分は、
0:08:11	やられるけど、
0:08:13	この部分は竜巻棒を設備で、
0:08:16	守れますとか、
0:08:18	やられるってのはおかしいな。
0:08:20	開口部の関係で、この部分には届かないけども、
0:08:27	内容かな。日本原燃の石黒でございます。現状は、竜巻防護対策設備、これ
0:08:36	本日提出予定の補足にも書いてありますけど、RCの盤を壁の外につけるとかですね。
0:08:47	そういう防護採択をしている言葉を把握していて、
0:08:51	ナカノは一位でなく外で守るような、5番をここでは、そのAt等で記載してしましてそういう意味ではですね、それを組み合わせてというような、
0:09:02	形にはなっていないという理解をしております。
0:09:05	ものがこれだったら、どっちかって、検討みたいなものを作りたいときに、組み合わせ、ここの部分はこっちだけこっちはこうですみたいな話があるかどうかです。
0:09:19	うん。
0:09:20	暴走族かっていうと入ったところにいるものが、
0:09:24	これはSS抜けて5年前にあったとか、もしくはどのようにもうオカないって決めたから、どっちかって、どっちかのパターンでいきますんですけど、守りに行きますときに、
0:09:37	いろんなパターンがあるとすると、または離職と、どっちかを使うパターンしかないんだけどそれが実態を即してるかどうかという、
0:09:46	了解しました。要はこの
0:09:48	日本原燃の石黒でございます。
0:09:50	またはっていうふうに書いてしまうと、
0:09:53	どちらか一方を使うということになるので、両方使う場合であれば、もしあるのであれば、または、回撤去する。
0:10:03	及び組み合わせによりっていうような記載が必要になるんじゃないかという、そういったご指摘だと思います。指針でなければ、記載でいいとは思ってるんですけども。はい。そういったところをちょっと大井しておいた方がいいというコメントです。

0:10:17	はい。
0:10:18	かしこまりました。ちょっとそこはしっかりと確認した上で回答すべきだと思いますので、そこはちょっと1度、こちらで、
0:10:28	確認させていさせていただいた上で、改めて記載の方は修正必要なしとさせていただきたいと思います。以上です。
0:10:36	はい。社長です。よろしくお願いします。
0:10:40	あとはあんまり、竜巻自身は、設計項目とかも整理されてきているので、もうほぼコメントはなくなってですね。
0:10:49	3435についても、やっぱり共通設計で書くと無理があるってところで、ちゃんとそこは個別に書き下しましたっていうのが正直なところなのかなと思うんですけども。
0:11:01	例えば11ページ目の35番。
0:11:07	これは多分記載だけの話で、
0:11:11	本当はこうじゃないよねっていうところ確認だけなんですけど、
0:11:15	竜巻防護ネットを構成する部材っていうのが、上から10何行目かに書いてあってそこにネットワイヤーロープ等はつらつら書いてあって、
0:11:26	最後に、脱落による波及的影響与えないよう十分な断面性能を有する設計っていうふうになってて、
0:11:33	評価基準がすべての部材に対して断面性能ってなってるのが、これって正しくないですよ。
0:11:44	はい。日本原燃の石黒でございます。おっしゃるように、すいませんもともとこれ、強度って書いていたものを少しでも具体化するというか、ブレイクするという意味で、
0:11:56	断面性能っていう表現を、前々回かヒアリングでからちょっと入れさせていただくようにしてたんですけどもおっしゃるように、
0:12:06	断面制度、
0:12:08	V0、
0:12:10	供給カー出しオンダんとかもあるんですけど、それを1個、断面シノっていうのはちょっと確かに、
0:12:22	正しくないと思いますので、
0:12:25	はい。
0:12:26	一ついうのもあれなんで、でも通って使いたくもないですし、
0:12:32	ここだけを挙げて、これはもう京都でもいいかなキクチサクマないんですけど、
0:12:37	まあ、まあそういうところは共通とかでもいいんじゃないですかね。
0:12:41	うん。もう全然細かくそこまで分けなくても、

0:12:47	日本のイングリです。ご指摘がございます。確かに細かく書こうとする等、片理整合が生じるぐらいで、必要な強度が明確なわけなので、そこはちょっとはい。
0:12:59	強度というような形にさせていただこうと思います以上です。はい。お願いします。
0:13:05	あとはその上の 10 ページ目の、
0:13:08	ポツですかね、30、
0:13:11	4 番の
0:13:13	ポツで、構造設計で青文字で書いてあるところなんですけども、最終的に離隔距離を確保する設計と書いてあって、前回の、
0:13:24	こちらの指摘を踏まえて入れてもらって、入れていただいた部分だと思うんですけど、この構造設計、
0:13:31	表裏一体では何。
0:13:34	という形になると思うんですが何か評価っていうのは抜けてるような気がして、
0:13:40	この評価も入れるっていう理解でいいですよ。
0:13:52	はい。日本原燃の石本でございます。当然ながら、要は意図的に離隔をとる設計としていて、離隔距離が
0:14:03	地震の相対変位によっても接触しないことの確認は必要ですので、評価という形にはさせて、評価をするのはもう間違いありません。
0:14:15	はい。ちょっと
0:14:18	少しだけ悩ましいかなというふうに思うのは、
0:14:23	これは地震による、
0:14:25	相対変位なんですけど、
0:14:28	耐震側ではですね、波及的影響こういう相対変位あったら当たらないと、あっても大丈夫かっていうのは、
0:14:37	同意クラスと下位クラスの越冬に対するものが規定されていて、今回ここで言っているのは、
0:14:47	5 番、何かですね、
0:14:52	振鈴接触しないように今回設計しようとしてるところであるんですけども、Cクラス同士という形にはなると、ということで、評価は当然するんですけども、
0:15:05	どこの、
0:15:07	お座敷に入るのがいいのかなといったところがあって、5 番の設計の中に入って、坂東氏が入れても、接触しないことって、
0:15:20	いう要求にして、それがな、絶対ならないことを評価でもって、2 地震に預けても駄目なんじゃないかなって。うん。

0:15:29	そうですね。ちょっと、これは竜巻特有の
0:15:34	パターンかなというふうに思いますので、
0:15:37	この評価というはおっしゃる通りでさせていただくんですけども、その記載する箇所については、検討させていただきたいと思います竜巻ですること含めて、していただきたいと思います。
0:15:51	はい、そうです。ちょっとあれだと10ページ目のこの青字の構造設計の上に書いてある文章が、
0:15:59	6条地震とかって書いてあったりとかするので、
0:16:04	そこの関連も、この表記も含めて整理が必要かなあとは思っていますが、
0:16:11	ここを見直すっていう形になるっていう理解でいいですかね。
0:16:16	はい。日本原燃の石黒でございます。はい。見直しが必要と思います。あくまでも日、
0:16:24	心というのが一つの起因事象でありますけれども、要求としては立場ということで、こちら、預けるような形だけでは進まないと思いますので、そこはちょっと、はい。記載の見直しをさせていただきます。
0:16:38	はい。
0:16:39	よろしくお願いします。
0:16:42	私から竜巻については以上です。
0:16:46	他、規制庁側から、
0:16:50	規制庁オカですと11ページの先ほどあった、ナンバー35の、
0:16:56	十分な目線の上のところ部材を今回こう展開して書かれてたんですが、この1つ、
0:17:04	何なんですか。
0:17:08	日本原燃の西浦でございます。
0:17:11	こちら前回ヒアリングのところで、ヒアリングでですね、
0:17:17	防護ネットを構成する部材というような表現をさせていただいたところ、具体的に何がを指しているのか、わかるようにして、すべきというよ、
0:17:28	ご発言もいっぱい言っていて、一応コメントとして理解をして、
0:17:34	よりブレイクするような形で上げさせていただいたという、そういう趣旨でございます。はい。
0:17:41	括弧、
0:17:43	第1回目の申請のキーの、
0:17:47	なんか見ると、はっきり言って景気を与える部材は、
0:17:50	ぐらいあるんですけど、
0:17:51	その分ザイゼンてのところではもっとたくさんあったり、あと、そもそも、

0:17:58	それぞれのネットでもた違ったりもしているようなものだと思うんですが、
0:18:04	その辺の認識はいかがでしょうか。今主語が、
0:18:09	ホームネットを構成する部材になってて評価対象の部材が何か書いてあるようなイメージになってるんですが、いかがですか。
0:18:19	はい。日本原燃の石黒でございます。おっしゃるようにこれは補足で、どれを評価対象にするかっていうのを選定しているんですが、
0:18:29	を選定した、
0:18:31	なんていうか、結果といいますか、選定後のものをさせていただいて、
0:18:39	これまたところでこれが計画。
0:18:43	はい結果して脱落防止を考慮しないといけないものというようなものでして、だから、最初からこれって決まってるものじゃなくて検討の結果がそうなるってということなので、
0:18:57	そういうのはちょっとここでそれをある意味書くのが、多分岡さんだけじゃ駅で括弧として多分日本語が合わないんじゃないかと。
0:19:07	防護ネットを構成する部材ってほかにもあるわけで、
0:19:10	ここで言いたいのは、設計価格、加古タテ受ける風を受ける部材として、これこれこれは十分な断面制度を有しているってことを言いたいんですね。
0:19:22	はい、規制庁ではそう。
0:19:25	ていうふうに書いてあげればいいだけなんじゃないか。これ、それをその場所法則でターゲットにするのは別に良くて、全体の構造として書いてること自体が一体上手くなってないから、この日本語
0:19:40	で日本原燃石黒です。趣旨は理解しました0でこれがすべて下のような記載になっているという意味では正確性に欠けてると思いますので、
0:19:51	そこがわかるように、ちょっと修正させていただきたいと思います。はい。以上です。よろしく申し上げます。あとちなみに、このぐらいその部材をいろいろこう展開する。
0:20:02	パターンって、ここ以外にも、
0:20:05	もしこういうことをやってしまう。
0:20:25	今日ね、
0:20:38	規制庁かです。なので、いや、やっぱ、後で補足説明資料等でしっかり明記される。
0:20:45	ものですので、
0:20:48	まずは、その関係がわかるようにした上で、徒党なんかを使った上で、注釈なりで、ちゃんと
0:20:57	補足説明資料で説明しますとか、少し配慮された方が、

0:21:01	他の条文とのバランスとか他の場所とのバランスもいいんじゃないかなと思った次第でしたがいかがですか。
0:21:10	はい。日本原燃越後でございます。まさにおっしゃる通りだと思います。ちょっと前回いただいたポイントを、もうただ単に
0:21:22	あまり深く悩まずにこう書いてしまったっていうところが反省かなというふうに思っております、ちょっとなるべく使わないようにしようと思うんですが、もうちょっと変に列挙するような形ではなくてですね、
0:21:38	総称できるのか、もしくはおっしゃる不足でこれ全部書いてますんで、ここで一つ一つ上げるのかっていったところは、ちょっと考えて直結可能性はあるかなと思うんですけど、スポーツに改めて考えたいと思います以上です。
0:21:54	規制庁甲斐ですよろしくお願いします。以上。
0:22:00	規制庁新居です。ありがとうございました。今の点っていうのは、最初の文章が、前回の文章が、防護ネットは断面性能を有するって書いてあったのが、多分きっかけだと思ってて、
0:22:14	多分もうその時点絞り込んでるんですよ。だからそういった議論が少し生まれてきたのかなと思いますので、
0:22:23	もうちょっとポイントを絞るのは絞って漢字にして、するなり後は他の条文との平仄を合わせて、そこら辺は、
0:22:31	部材の書き方について留意していただいた方がいいかなと思っております。
0:22:36	以上です。はい、日本の石黒です。了解しました。
0:22:46	えっと今の場所だと、前は共通し、するもの等、
0:22:52	個別のものと、
0:22:54	個別で違うものっていうのがわかるように書いてあったところを、それぞれ各書き下したっていうことだとすると、逆に差分がわからなくなってるんですけど、そこはどうするつもりですか。
0:23:13	日本原燃の石黒でございますけど。
0:23:16	こちらにつきましては、
0:23:19	ここの資料構成で言いますと、添付 2-1、2-2、2-1 ですかね。
0:23:26	ここでちょっと説明
0:23:29	をあまり少なかったんですけども、1.9-1 の、
0:23:37	6 ページのところにですね。
0:23:49	うん。
0:23:50	うん。
0:23:52	⑥って書いている、破線に囲まれているところで、

0:24:00	構造設計と書いているこのバス全体が、この下の子、19 ページの構造へ地形 9 分、
0:24:11	衛藤。
0:24:14	基本的には、
0:24:22	ん。
0:24:25	いや、多分、共通フジイとかミイどうやってし、累計して行って示そうと思ってるのかって。
0:24:32	いうことをご質問されてるのではないかなと思いながら、
0:24:36	連絡です。それ、そうです。これもですね、ほぼ、何だろう、次の資料なのか竜巻以外のやつだとこの資料なくて、
0:24:48	竜巻で作られているっていうのは、他はどうすんのとかっていうのも聞きたいところではあるんですけど。
0:24:59	竜巻では、もともとそういう話題があったので、作られているということは理解をしつつ、
0:25:05	結局これ結論でしかなくて、
0:25:09	これ以外はほんとに一緒大丈夫とかっていうのを、いちいちページめくりながらとってみないとわからないっていう状態なんですけど。
0:25:19	見ろってことですかね。
0:25:23	日本原燃の首藤でございます。
0:25:26	このページで、どこが共通してるかっていうところは、
0:25:31	赤コウなり何なりを、色をつけるなりで一目でわかるようにはできると思いますので、そこは
0:25:40	と修正したものをまたご提示したいと思っております。
0:25:46	はい。
0:25:48	そうですね、添付 2-1 が差分。
0:25:54	を示しつつ代表を、
0:25:56	がわかるようにするというつもりで作っているということであれば、そういうような配慮をしていただいて、どことどこが対応してて一緒なのかって微妙に違うのはどこかと。
0:26:08	いうことまでわかるようにしていただくといいかなというふうに思います。
0:26:14	4 イングロニツ承知いたしました。
0:26:20	補足です。で、それっていうと 2-1、添付 2-1 っていうのはその意味合いだと、添付 2-2 っていうのは何ですか。
0:26:28	の下の子のイングロでございます。もう根拠にというのは、添付 2-1 で、矢印で非常にわかりにくくなってるので、
0:26:37	要は、どれとどれを、が同じような説明グループとし、グループつきがちよっと正しくないかもしれませんが、一緒に説明するのが可能。

0:26:50	なんていうかこを幾らいいかというか、すべきかということをちょっと書いてあるものを書いているものでして、この、例えば 23 ページを見ていただくと、
0:27:03	オフを、
0:27:06	四角で囲っているますが、
0:27:09	あるかと思うんですが、
0:27:12	こちらの、
0:27:14	ここで言うと収納する建屋の構造構造強度評価とか云々が入ってるんですけど、この青で囲っているものを一つのセットとして、説明する。
0:27:26	ことで、一つの、何ていうか、
0:27:29	アンケートした説明になるのではないかと、いうことを記載したものでして、この 2-1 の、この矢印でつなげているものを、実際にしつてみるとどうなのかっていうものを示したのになります。
0:27:45	ちょっとわかりにくいんですけどね、そういった解説がどこにも書いてないような気がするんですけど。
0:27:55	どっか書いてます。
0:27:59	すみませんものすごくあっさり書いてるんですけども、
0:28:03	2-1 のところについて、まず、
0:28:09	この 2 ページですね。
0:28:11	本文の 2 ページのところ、整理手順というのを非常にあっさり書いてるんですが、
0:28:19	冒頭宣言とか定義とかっていうところで、後に預けているところは一旦ちょっと策として、
0:28:28	設計項目に関連するところのみを抽出してですね。
0:28:34	行動と評価っていうのがそれぞれ別のところで書かれてたやつを関係する対になっているものを引っ付けるといったような作業とか、これ ABC ってるものが、
0:28:45	2-1 に該当するものでして、2-1 では、矢印をつけて、こことここを合わせて説明できますというような整理をしてるんですけども。
0:28:56	あわせて説明できるものを、図すべて横になられた結果が書き直したものが、2-2 ということで、あっさりはしてるんですけどこの整理手順の ABCD でアノを記載させていただいております。
0:29:12	はいこれでわかるというのかっていうご指摘があるかなと思いつつ、ちょっと実態がそうだとすることで、
0:29:27	発足です。
0:29:30	うーんという感じですけど。
0:29:36	そうですね。しかもですねこれ一の、

0:29:43	添付 2 の題名わあ、設計説明分類間整理所であるんですけど私今申し上げたのは設計分類感ではなく、
0:29:55	設計説明分類間ではなくて、その中の機関なんですよ。
0:30:01	うん。
0:30:02	ですけど、それも整理しているってことってよかったですかね。
0:30:09	はい。日本原燃の石黒でございます。実はそこが、前回と今回のこの添付の 2 のシリーズの作りが一番書いたところでして、前回までは共通設計という形で、
0:30:23	再分けなかったの、起きてこなかったものが、今回で言いますと、
0:30:29	18 ページの 1 のところで、
0:30:34	コミヤ構造設計のところから、福谷矢印を引いて、自分の竜巻防護対策設備とつなげるというような、ちょっと項目が入ってきているので、
0:30:46	前回出なかった、今回からです、その記載の書き分けをしたがゆえに、同じ分類の中での
0:30:58	ドウツウコウといったところをつなげるような作業をアマヤていたというのが、ちょっと今回オチアイでして、そういう意味では分類間だけではなくて分類内もちょっと踏み込んでおいた松森については、
0:31:12	今回から言ってはありますけれども、
0:31:15	今回共通して書いてたって、徹底説明分類な内で共通するものは、どちらか一方で説明すればいいんですってことをきちと、いや、
0:31:26	近藤です。
0:31:28	それをさらに逆戻しでブレークした上で、今のやつで 2000 オカしてると。
0:31:35	文字としては一旦ブレーキをした上で説明する時にはまとめて 9 名できるよねってところを 2-1 で表そうとしたという、
0:31:43	ものにはなります。
0:31:47	ここちょっとお話のあって、
0:31:53	1 個ですか、古作です。それはそれでもいいので、ちゃんとそこら辺の工夫がわかるように書いといて、
0:32:02	いただくといいのかなとは思いますが。
0:32:06	ちょっとその視点で読み込んでいるわけで私はないんで、しっかりと伝わるようにしといてもらえればと思います。
0:32:19	等、この作業ワー
0:32:22	竜巻以外はどうするんですか。
0:32:33	はい。乳井の資料でございます。はい。
0:32:37	同じように、
0:32:39	やりますというかちょっとやる形で整理をします。

0:32:45	どういう形で資料さあ資料 2 の段階で代表の付けをして、どこで共通項として説明していくのかって整理は当然ながら必要ですので、
0:32:55	同じように整理をしていきますはい。
0:32:59	はい。補足ですわかりました。
0:33:01	その上でなんですけど、2-1 は何か説明が書いてあるからわかるんですけど、2-2 って先ほど青枠でまとめてって言いましたけどこれまとまって並びは取れてるのかもしれないんですけど。
0:33:15	どちらでどう対応して説明するのかって全然わからないような気がしますけど、どう見ればわかるんでしょうか。
0:33:26	日本原燃の石黒でございます。すいません。そこまでは、
0:33:33	意識して書いてなかったというのが実態でして、これをまとめて説明ができるってということで、これをどう
0:33:41	どれを中心に、説明しつつ、どこに付加していくのかといったような、そこまでの整理がちょっとできていなかったというのが実態ですので、
0:33:50	そこをちょっと、はい。考えさせていただきたいと思います。
0:33:56	はい、わかりました。てあるとするとですね先ほど私が 2-1 の側で少しお願いしたものを、2-2 の、そうですね際、
0:34:08	後、3 ページぐらいに終わった。
0:34:11	てるんですかね。
0:34:13	これは
0:34:14	分類内でもう少し整理をするってことであればここ、3 列 2 分、
0:34:21	カイシュ分解してっていうか
0:34:24	並べ直して同じように、対応関係整理をしてと。
0:34:29	いうことをやり、どれが代表か、どれが差分かってわかるようにすれば、
0:34:35	いいのかなと思いましたがけど、整理の仕方は、適宜検討いただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:34:44	はい。日本ヤノイシダです。かしこまりましたはい。考えをどう表すかということですのではい。できると思います。
0:34:55	はい。補足ですよろしくお願いしますそれでちょっと細かな話なんですけど、8 ページと、
0:35:05	7 ページのですね一番下、
0:35:09	もう 29 番。
0:35:11	なんですけど、
0:35:13	これ固定木場空云々で、
0:35:18	等、
0:35:21	屋外機器等建屋で同じことが書かれてるんですけど、なんで同じなんですか。

0:36:06	日本原燃のイングリでもないんですよ。
0:36:09	と。
0:36:11	こちらの固縛に関しては、建物構築物で固縛っていうのが、ないのではないかっていう多分ご指摘。
0:36:22	ともとらえているんですけども、
0:36:25	衛藤。
0:36:27	徳と丹屋根とかの、軽量なものに対してバックするというような、
0:36:33	あとはもうあるということで、このような記載をしているという認識。
0:36:40	で書いたものであります。
0:36:47	それがあるならあるそれはそれでもいいんですけど、それだけですか。
0:37:01	例えば、
0:37:03	建屋内、また、
0:37:04	建屋収納っていうのはどう説明するつもりですか。
0:37:29	日本原燃の肥後でございます。
0:37:32	おっしゃるように、建屋収納っていうことを、建物構築物で、
0:37:38	行うわけではないので、
0:37:41	そこをここでブレイクすると。
0:37:45	機械は全く同じにはならないのではないかというご指摘だというふうに理解をしました。
0:37:53	ちょっとその要求事項を踏まえて、丁寧に書くと。
0:37:59	表現が少し変わるのかなというふうに思いますので、
0:38:02	そこは少しちょっと、
0:38:04	考えてみたいと考えて、失礼な修正をさせていただきたいと思います。
0:38:09	部数、
0:38:10	はい。補足ですよろしくお願いします。
0:38:14	特にここが目立ったのでお伝えしたんですけど、今言ったように方針を踏まえてですね、ちゃんと網羅的に説明できてるかっていうもの。
0:38:24	観点でチェックをしていただいて、それがちゃんとわかるように、今の建屋のところであれば、そういったその建屋の中にも飛散し得るものがあるっていうところ。
0:38:39	をちゃんと言わないと建屋そのものが、
0:38:41	飛ぶかのように書いてあるので意味がわからなくなるんですよ。
0:38:47	っていうのもちゃんと意図が伝わるようにしていただきたいと。
0:38:52	ということで、全般、精査を進めていただければと思います。
0:38:59	日本原燃石黒でございます。かしこまりました。
0:39:08	規制庁の荒井ですけど。
0:39:10	その他、

0:39:15	はい。特にないようですので、竜巻については、これで議論を終了したいと思います。続いて、竜巻以外の会社について、お願いいたします。
0:39:28	はい。稲毛ニシダでございます。それでは、竜巻以外の外部衝撃に係る整理ということでございます。
0:39:37	前回から本文は対象外と、偉い時使っていますけど他で整理をするので、こちらでは対象にしませんよと言ったことの方がわかるように技師を整理をしたと。
0:39:51	というのが本文修正でございます。
0:39:53	表の方ですがそれぞれの事象ごとに下野ですね冒頭宣言関係の親子共も、
0:40:03	関係の紐付けはたちまち日程のやりとりがあったと同じでございます。同じように整理をしてきたと。
0:40:10	ということでございます。はい。
0:40:12	個別のところ、修正したポイントとしてはですね一つは、
0:40:23	ライブ火災じゃないナカハタんだな、火山関係で、35 ページ以下が 55。
0:40:34	細片化運転を解除するところの運用上の措置としての考え方設計、というのが何に基づいてやられるかっていうのがわかるように、修正をしたと言う点。
0:40:46	あと 37 ページのパターン 61、これもともと配置設計だけを書いてましたが系統としての設計での考慮、
0:40:56	いうことも考え方としては必要だろうということで記載を確認をしているという点。
0:41:07	あとは、落雷ですかね、45 ページ、外来 11 とかのこのパターン幾つも出てきますが、
0:41:18	兵庫建築基準法ですとかJISに基づいて、ヒライ設備を設置する時の、どういうパターンがあるかっていうのを全部上げた上で、いずれかのパターンになりますということの関係性がわかるようにしたと。
0:41:31	いうこと。あと 47 ページにある外来 16、これ
0:41:39	間接への影響のところのいわゆる接地系の接続のいわゆる呉関係としては支配等含めた設計上の考慮が必要ですのでそういったところを確認をしています。
0:41:52	はい。
0:41:54	あとその他の関係で 4. 54 ページ、凍結関係あとは、
0:42:03	んですかね、設計上の考慮というのを、設計方針との関係であったり、何を対象にしているか、どういう設計をするのかがわかるように記載を見直しているという点。
0:42:16	でございます。はいあと、

0:42:21	まだ直し切れてなくて先ほど、竜巻の方でイングロの方から説明がありました、
0:42:29	まだ若干整理がうまくいってないところが 29 ページ。
0:42:34	実際 28 ページからですかね、火山の 17 からスタートする粒子の衝突の件。
0:42:41	これ先ほどの竜巻でいきますと、
0:42:46	Noだ。
0:42:52	10 番。
0:42:55	15 ページ、竜巻リスト、揃えろ 4 ページですかね、10 番で受けてます。実際粒子の衝突という意味で、砂利の方に銀行、
0:43:10	あたりしてるんですがは、リンクを受けてるというつもりで竜巻は書いてます。ただこれ、
0:43:18	普通に考えると、左に特定すると言えばヒライ物全体を通して、竜巻であって設計に包絡されますというのが、設計のコンセプトかなと思ってまして。
0:43:30	そういう意味で今、殊、竜巻の 13 番から 22 番に物を形にしてます。13 番から 22 番は実際の建屋内に収蔵する設備からの、
0:43:41	設計のくだりのところで、リンクを貼ってます。
0:43:45	このリンクの張り方も、ちょっと乱暴な気もしてまして、実際見ていただくと、が山の 17 は、建屋に収納する収納される設備じゃない名宛やか。
0:43:56	防護対象施設を収納する建屋の話をしてますので、
0:44:01	竜巻でいくと、
0:44:05	牛、
0:44:08	15、15 か 15 番ですかね、あと 16 番か 1516 に経営設計としては預ける形になるのかな。
0:44:18	ということでバンド 0 ばくっとやってますけど、対応する形の対象物を特定して人口を払うのがいいのかなというふうに思ってますので、そういった整理を進められればと思ってます。
0:44:31	ただこれも他の条文要求でも同じようにあるんですけど、一番最後ふと悩むのが、火山の 21 で一番トータルで、
0:44:42	竜巻に振り上げてるところ、これは結局全部に受けた形になってるので、
0:44:49	17 から 1020 位、20 番までを、
0:44:54	遊び場ですけど、竜巻の、
0:44:57	17 番が 1056 で 18 番が 19、竜巻のですね、19 番が、竜巻の 21、3035 とかって個別にあったとしても、

0:45:08	ダイゴカナダの 21 に行くと 161922 条、2435 みたいな、それぞれ全体にまた繰り返すみたいな形になってしまうところあるので、もうちょっとかっこいいっていうか見見世物としてもうちょっと
0:45:22	スマートなやり方もあるかもしれないです。それは、
0:45:25	引き続き検討したいと思ってますというところですかね。はい。
0:45:33	え。
0:45:35	はい。あと外部火災ですけれども、全般的に設計項目の拡充を図ったり、設計項目の中の記載ですね、設計として何を語りたいかと。
0:45:48	いうところがわかるように整理をさせていただいてます。
0:45:52	例えばですけど、拡充したポイントとしては、例えば何ページで 14 ページとかの外貨 3637 で、危険物呉からのバックあたりのことを考えるときに、
0:46:06	遠別町施設側の情報というのもちろんとあげて、これとの関係を示した上で実際の設計を図ると、というようなインプットになるようなベースの情報もしっかりと書き出して、
0:46:19	全体のリンクを図らせていただいているということでございます。
0:46:24	はい。もう一つまだ書き書き方がおかしいなと思っている意味がさっき載っています。
0:46:33	これはちょっと考えますが、28 ページ。
0:46:38	これ火山だけに限る話ではないのですが、
0:46:41	タダン 14 番見ていただくと、降下火砕物防護対象施設等に波及的影響をおよぼし得る施設はという主語になって設計を語ってますで今、
0:46:53	屋外屋内がバーになって建物構築物と竜巻防護対策設備に設計が書いてあります。これ
0:47:00	添付書類でいくと、
0:47:02	施設の選定かなの添付書類が直接この機器とかで影響を及ぼす施設はありませんということをやったことを前提に、
0:47:13	バーになってるんですけど、対象になるものがないっていうのを整理するのも設計だとすると、ここはバーがおかしくて、ここに何らか、そういった権益影響をおよぼし得る施設っていうのがあるのかなのか。
0:47:26	いうことの整理をするっていう設計情報がないと、全体がクローズしないのかなというのを思っましてここはまだちょっと整理が必要だということで認識をしている部分です。
0:47:36	はい。全体として説明以上です。
0:47:40	成長オカベです。では、とりあえず条文ごとに、まず確認していきますが、外部火災、
0:47:47	から、

0:47:49	見させていただきます。外部火災は先ほど説明いただいた通り
0:47:53	微分情報大分、前回まで、
0:47:56	なかったんですが今回しっかり追加いただいて、
0:48:00	概ね、どういう説明がされるのかっていうところは理解、ついてきました説明イメージが、
0:48:07	誰も受けました。で、あと、ちょっとそういう
0:48:11	情報をしっかり精査するとともに、前々回ぐらいのヒアリングで、
0:48:17	竜巻、
0:48:19	を代表し条文として、
0:48:22	代表とか取ってやっていくグループ1の中で、外部火災、
0:48:26	としては外部火災自体が、第1回の設工認とかで、もう累計と代表をとってやっているような、
0:48:34	状況なので、どういうふうに合理的に進めていく絡めていく。
0:48:40	なじませていくんですかみたいな議論をしたと思うんですが、その辺ってどういうふうに考えられましたか。
0:48:51	はい。日本原燃瀬谷でございます。すいませんそこまだ答えに至ってないとかおっしゃっていただいているように、当然ながら認識をしていて、
0:49:02	先ほどの竜巻の添2-2とか2-1ではないですが、竜巻の設計見ただ上、累計をして代表これでいけるよねみたいな話をするのと同じように外部火災はもともと、
0:49:18	外部型に対してコンクリート自体の有名運動が必要なものいいかなということを見るという視点では同じであとは距離の問題で一番近いところやればいいでしょうというのがまさしく、
0:49:29	累計をした上での代表を選ぶということをやっているという点を、コラボしながら、最も合理的に代表選手を選ぶということに本当はゴール行き着かなきゃいけないんですがまだそこに行きつけてないというのが現状でございます。
0:49:43	理由は、もう一つ、当然いろんなこと考えなきゃいけないって代表っていうのはですね、全員、
0:49:51	今回の審査会合でもご質問されて答えたようにいわゆる2月1月かの審査会合でやった最初の場合、AとかB1B2B3B4ですかね特に、
0:50:03	BtoBに該当するものというよりは、Aになったものは全体の設計を説明しないといけないういう前提から、ある程度代表になる可能性が高いものだと考えなきゃいけない。
0:50:15	っていうのも多分一つのファクターとして考えながら、いかに代表を、

0:50:20	<p>なんでしょう合理的に合わせていかみたいなのを考えていかなきゃいけないんですけど、まだちょっとそこまで行ききれてないのかなというふうには思ってます認識はしてます。はい。はい、規制庁からそっちへと今日、結局、提出日、</p>
0:50:33	<p>で、打ち返し聞けなかったんですが今日提出されるという資料では、どういうふうにかかれてるんですか届いたら見ますけど。</p>
0:50:53	<p>はい。日本原燃清でございます。</p>
0:50:57	<p>え一つとですね、どちらかというと、建物構築物、</p>
0:51:03	<p>新規物だったり、特徴のあるものという意味で選んでいるあと機器屋外の機器みたいなもので9棟、屋外の期間、</p>
0:51:15	<p>というのでいくと、これも同じように1000規模とか埋設した冷却塔みたいな代表にしたりということで、どちらかというとある一つの視点で大分代表を選んでいる形になってますので、</p>
0:51:28	<p>あまりほか、いろんな要素がある中で、なぜこう選んだのかみたいなばっかりという状態にはなっていないし、合理的な選択肢になってますかっていうところでもまだ十分ではないというふうには認識をします。</p>
0:51:40	<p>はい、規制庁からそういう</p>
0:51:43	<p>今後そういうことをちゃんと検討していかなきゃいけないというふうに、問題意識を持たれて、</p>
0:51:56	<p>あと、ちょっと個別に事実確認させていただきたいんですが、15ページ目、ナンバー39。</p>
0:52:03	<p>とかですね、</p>
0:52:07	<p>ここをサンプルにして建物構築物の構造設計の最後の行。</p>
0:52:12	<p>熱影響を吸収できる厚さを確保する設計とか、</p>
0:52:20	<p>ちょっとこれは若干曖昧かなと思って次を読み進めると16ページ目のナンバー40、これも建屋内でどういうふうに防護しますかっていうところで、</p>
0:52:31	<p>構造設計の1ポツ目で、建屋外壁の機能を維持するよう、</p>
0:52:38	<p>鉄筋コンクリート造及び十分圧を確保する設計なんか、</p>
0:52:42	<p>同じことを担保しようとしているのに表現が統一されていないみたいなのところとか、</p>
0:52:47	<p>毎回ちょっとずつこう変わってくるようなところがあってですね、この辺で何か書き分けされ、</p>
0:52:53	<p>されようとしているのか、それとも何か、</p>
0:52:56	<p>あんまり間意図せずにこうなってしまうのか、どういう。</p>
0:53:01	<p>夫馬監事。</p>
0:53:12	<p>はい。日本原燃瀬谷でございます</p>

0:53:21	うん。失礼しました。ただ一応考えてた趣旨としては、15 ページの下が以下 39 これ航空機の墜落火災のところどどちらかという第 1 回で、
0:53:32	MOX でやっていた説明のやり方をイメージして、どう書こうかなというところで
0:53:39	外壁自体は、当然ながら、直近で航空機が落ちるので照明はある程度、
0:53:47	温度は上がるけども、全体的にはコンクリートの機能に必要な厚みは残ります。あとは例えばナカの
0:53:56	設備に対して、
0:53:58	温度影響がないよねっていうところまで見ていたのも見ると、それを設計として、裏返しにするとどうなるかってところをどう工夫しようかなと考えたのが 15 ページの文章ですね。
0:54:11	一方そのもの自体が、
0:54:14	機能喪失しないよねっていうところを、あとはどう書くかってとこで今一緒に書けばいいところは、五つに変えればいいですね、多分、アノイデ 1040 番ですかね 40 番対応防護対象そのものがタテノダと。
0:54:28	いうことを考えたときに、中の設備との関係、関係なくて、安全にまず建屋がコンクリートとして機能維持できればいいということが多分設計の着眼点かなという気はしているので、
0:54:40	そこに対して設計をかけるのに 39 番と同じような書き方をして耐えられるのか、もしくはコンクリート造でも十分ナツメ関係ない。
0:54:51	削れても、強度が必要な強度がモリモトっていうのが必要なのか。
0:54:56	うん。北田。
0:54:58	はい、規制庁会長井戸は下がってただ結局やりたいことってコンクリート造で深澤さんを持たせると、
0:55:06	コンクリートの中の温度分布を評価して中のものを守るとか、それ自身が守られるとか、そういう違いがあったとしても何か出てくる度に
0:55:18	表現が変わっていると、これは何だっけっていうふうな感じになるんで、
0:55:23	もう少しわかりやすいというか、はい。はい。そういう意図でお伝えしていますので、
0:55:35	もう少しそういう配慮をしていただければと思います。はい。
0:55:43	じゃ次、何か、その 16 ページ目のナンバー 40、同じところで、ですね、屋外機器配管の方の構造設計で、
0:55:53	副院長、
0:55:55	藤、オオクマ 1 配管の

0:55:58	遮熱板この遮熱板で、耐火被覆塗るんじゃないかなと思って耐火被覆または遮熱板で、先ほどのアノライも、及びまたお話しされてましたけど、ここって、
0:56:11	まだまだ大丈夫でしたか。
0:56:19	はい、日本のイソダでございますここはすみませんこちらで完全に思い込みで、遮熱板＝大会来るだろうと思って、書いてしまってますけど日本語そのまま読むと、
0:56:31	おかしいですねはい。遮熱板は1回回復しないのかのように見えるので正しく表現したいと思います。はい。はい。社長。
0:56:41	よろしくお願いします。こういうところがちょっとちょこちょこまだ見られますので先ほど多分思い込みっておっしゃっていたところ、
0:56:49	あと、同じところの建物構築物の集配機等の話で、
0:56:55	ちょっと申請時からずっとこう、
0:56:58	理解できてないところがあるんですが主排気塔自体に耐火被覆って塗るんですか。
0:57:06	ここで売って書いてあるんですが申請書自体読むと、なんかどこに売ってるのかよくわからなかったりして、ずっと不明瞭な状況なんですか。
0:57:20	ちょっとお待ちください。
0:58:03	2 萩谷でございます。
0:58:07	さっき、田谷の下側、5 番ですかね。ヒライ竜巻の対策設備で覆われている部分があって、そこは多分対策設備側になる。
0:58:20	プラス対策設備、5 番から出ている部分の鉄塔で、
0:58:26	鉄塔の部分でかつ航空機が落ちたときに、その影響熱影響を受ける範囲に、耐火塗装を塗るとというのが、
0:58:36	対象範囲ということになります。
0:58:39	はい。成長その範囲が、結局、上がどこまでなるのかっていう、
0:58:47	ゴトウに繋がってくるのかなと思っていて今ちょっと受け取ってる資料だと、なかなかその辺がわかってない状況なので、またこの共通 12 のIIなんかで少し明確にしてい。
0:59:00	たとえただければなと思いましたが、よろしくお願いします
0:59:06	はい。日本原燃石田でございます。はい。
0:59:10	私も、
0:59:12	これコメント出したわけだ。
0:59:14	でも直ってないんだろうなと、塗装の範囲は書いてありますが、これが全体でどこまでどういう考え方で塗ってるのかみたいのは何も書いてないので、ちょっとそこも工夫が
0:59:27	今後できるようにしていきたいと思いますはい。はい。

0:59:38	もう、
0:59:39	集配当時、
0:59:41	音を表現したくてここに
0:59:43	衛藤。
0:59:44	書かれているんです。
0:59:46	はい。はい、おっしゃる通りでございます。はい、規制庁
0:59:52	からⅣ。
0:59:53	21 ページ目、これも事実確認で、53 番、先ほど風間の方でも少し説明。
1:00:00	されていたところなんです、なんでここ、この後もずっとたくさん出てくるんですが、
1:00:05	ここの、
1:00:06	53 番ってなぜ建物構築物が対象に入っているんでしょうか。
1:00:19	はい。乳井ニシダでございますまず多分おっしゃりたいことは
1:00:24	システムの切り換え来住が運転を解除するって意味であれば対象が屋内の機器配管になりますんでここだけの対象でいいのかなということだと思えますが
1:00:35	実際の酸素濃度だったり、二酸化炭素濃度を測ってその管理基準に達してるかどうかを判断するのは、あるエリア、有すれば、市野がいる。
1:00:47	中央監視のエリアになるので、そういう意味で建物構築物を入れているということです。ただこれをやることによって設計としての説明が超えている可能性もあるので、
1:00:57	もうちょっと考えます。はい。はい。そ、そういうところ、あれですよ。結局部屋のバウンダリーとして、建物構築物が、
1:01:07	入ってくるので、そういう、
1:01:09	配慮もあって建物構築物何もない。そうですね。今、書いていただければいいのかなと思います。そうですねそういう意味でいくと、建物構築物の配置設計なり何なりでちゃんと人が居住しないとイケないというか
1:01:25	介在しないとイケないエリアっていうのはこういうエリアなんですっていう、設計情報を出すんだということをと組み合わせて、この話をするっていうことであれば、建物構築物あげる意味も出てくるのかなと思うので、そういった関係の整理をしていきたいと思えます。はい。
1:01:41	はい。院長、よろしく申し上げます。外部火災で事実確認
1:01:56	の方、
1:01:58	規制庁。
1:02:01	規制庁
1:02:02	アライです。

1:02:05	については、
1:02:08	先ほど説明ありました通り 37 ページ目ですかね。
1:02:14	61 番で、
1:02:17	システム設計ということで入れていただいています。
1:02:23	これは、これに書いておいてもいいのかなとは思いつつも、
1:02:28	行動システム設計で示したいことって何、何なんでしたっけ、結局。
1:02:45	というのも、
1:02:47	敷地内が交通の途絶によるアクセス制限により、
1:02:52	燃料の供給ができません。
1:02:56	ていうのは、
1:02:57	そもそもなんか屋内配管機器って書いてあるのに敷地内外とか別に関係。
1:03:03	ない、ないでしょってところが、
1:03:05	井戸なんですけど。
1:03:08	はい、日本インダでございますまずですね一つは、
1:03:13	敷地の内外別の場所から、燃料なんかを輸送するという手段を講じる必要がないですというのが、
1:03:23	全部系統が繋がった状態でありますよと。だから必要な燃料なんかは系統として送られてくるので、
1:03:32	何らのタンクローリーみたいなね輸送みたいなものは必要ありませんってというのがまず
1:03:37	平成の設計で言いたかったことなのでその辺がちょっとわかるように、整理をします。配置設計でいう、屋内に入ってますってというのが配置設計はどちらかというと、
1:03:49	とはいえもともとは降下火砕物の影響で起こる間接的影響の話をしているので、そもそもその系統が国家火砕物の影響を受けて終了だったら意味がないよねっていうのは井関の話をしていると。
1:04:01	ということでございます。はい。はい。はい。
1:04:04	ある意味システム設計の方は当然のことをちゃんと変えていただければ、それでわかるのかなと思いますんで。はい。特に問題、こだわりはありませんが、よろしく申し上げます。
1:04:19	火山については、特段大きな点っていうかほとんどない。以上です。
1:04:25	他、火山等で、
1:04:27	古作です。
1:04:29	最初に説明のあった点で、どういうふうリンクを貼るのがいいのかとか、
1:04:35	ということなんですけど、

1:04:38	何番でしたっけそもそも設計方針D銀行はってところが切でもそれって包括的に飛ばしてるので、そこで
1:04:52	竜巻側のあちこちに、
1:04:54	リンクを張ったところでわかりにくいと。
1:04:57	ということでどうしようかっていうことなのかなと思いますが、途中で言われたように、
1:05:05	この部分はここでこの部分はここでっていうのは、とてもわかりやすい。
1:05:11	ところであって、
1:05:14	何かうまいことそうわかりやすくないかなと私は思ったところなんですけど、一方で、この間のSAの話だと、その前のヒアリングで、
1:05:24	変に橋渡ししちゃう等、流れが一本で繋がらなくなってっていうような話もあって、
1:05:32	それとのバッティングがないようにどう工夫ができるかっていうことかなと思うんですけど。
1:05:39	まずは基本的にその一本で書く流れはありつつ、補足として、それ、
1:05:48	基本設計方針の構造としてはどう繋がっているんだけど、具体的にはここここが繋がってますよという形で、二本立てで書ければなどは思いますけど、メジャー。
1:06:00	いますかね。
1:06:01	はい、乳井瀬谷でございます。はい。おっしゃっていただいている通りで
1:06:08	SAでも悩んでることと同じようなパターンではあるんですけど 28 ページ 29 ページですが 28 ページから火山の 17 が始まって、
1:06:19	この火山 10781920 の書き方は、竜巻輸送竜巻防護対象施設を収納する建屋の説明だったり、
1:06:31	屋外の防護竜巻防護対象施設の説明だったりそれぞれ、紐づけができるところだと思いながらも、とはいえ、大枠、竜巻の設計で
1:06:44	拾いますよということの宣言との関係で、若生拾う範囲はこういう考えです。ただ個別にはこういうところとリンクしてますよみたいのが、ダブルで書いてわかるように整理できればなというふうに思っていました。はい。
1:06:59	はい。コサクですわかりました。よろしく申し上げます。そうすると、
1:07:05	基本的なその一本線と言えば、こちら辺の
1:07:09	書いてある※書きの部分っていうのは、基本設計方針では、一番下の方の、竜巻に繋がる方針。
1:07:17	の方に落として、その上で、竜巻の、
1:07:21	ここに飛んでいくと。

1:07:24	というのがラインでありつつ、それだと見にくいんで、それをこのところにもお聞きするというふうに思えばいいですかね。はい。日本インダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りです。はい。
1:07:38	はい、長田ですわかりました
1:07:41	類似のものって、ほかにもありますよね。あります。
1:07:46	でも、他も見ながらちょっと考え方をまず作って、同じように展開します。はい。はい、五藤ですよろしく申し上げます。それで、今みたいな関係でいうと、
1:07:58	竜巻なり、小、この部分ある程度考えは整理されてやってきているんですけど、基本設計方針、
1:08:07	小山コウ5とかって言ってますけど、階層深くなっていくので一応一番最初の方針を第1階層として、第2第3第4で、
1:08:17	というような表現でいうと、第1から第2階層の複数のものに飛ばして第2階層の
1:08:27	ものが第三階層のまた複数のものに行くと。
1:08:31	いうことでありつつ、
1:08:37	第2階層第1から第2で複数なったものがまた第三階層で、別。
1:08:43	何だろう、網目のように、
1:08:47	絡まってくるので、一対一ではナック、他の上位の階層のものも拾ってくると。
1:08:55	というようなことがあるんだと思うんですね。そのあたり番号で書いてはいただいているので、繋がってはいるんでしょうけど、
1:09:06	そこら辺の全体像がパッと頭に入っているといいなというふうに思ってます、一同、
1:09:14	SAのときに書かれたと思うんですけどその階層でナンバーから中出の階層なんかその内容はどんなものなのかっていうのを、
1:09:24	おアノす。
1:09:26	こないだの重大事故のように、整地じゃなくていいんですけど、
1:09:30	大体イメージ図みたいなもんいただいてもいいですかね。はい。日本原燃石田でございます。はい。作りますアノつけるようにします。はい。
1:09:40	コサクです。ありがとうございます。そうすると何番から何番って言われた時に何回ソウノことかとかっていうのは、さっとわかると思うんで、いいかが進むかと思います。よろしく申し上げます。
1:09:57	はい。
1:10:00	あ、はい。数については、はい。これで。はい。
1:10:04	うん。
1:10:05	ございませんというところで、

1:10:10	続いて、航空機についてなんですけど特段修正は、
1:10:15	なく、
1:10:16	うん。
1:10:17	本部の関係とかを少し整理したっていうぐらいだと認識していますけど、規制庁側から何かあったりしますか。
1:10:32	はい、では特になければ落雷の方にお願ひします。
1:10:36	規制庁の岡です。それぐらいの、幾つか事実確認させていただきます。まず、
1:10:42	44 ページ目。
1:10:47	No.10 の、
1:10:49	ご結婚し、すっごく言っていた竜巻防護対策設備の悪影響の話、収益等の下にいた衛藤。
1:10:57	竜巻防護対策設備をつけちゃったばかりに、設置局に、
1:11:02	流れませんねっていうわけ希望Cを、
1:11:06	ですね、今回の
1:11:09	申請もすぐにちょっと結構伝えたんですが、
1:11:12	集配費等との接触がない構造とする設計で説明される。
1:11:17	という整理になったと。
1:11:19	ということで1時金コウ設置局につける、設置するっていうような
1:11:25	方針も示されていましたが、まず、これは整理結果として今回はもうセッションがない構造とするということでよろしいですか。
1:11:33	はい。日本エザワでございます。はい。そういうことでございます。はい。はい。その場合、結局ずっと懸念していたのが落雷、
1:11:44	発生して、
1:11:49	今の隙間が電流が伝わらないっていう担保がとれるかどうかっていうことをずっとこうお伝えしましたが、そこら辺のめどがついたということなんでしょうか。
1:12:17	はい、日本インダでございます
1:12:21	何て言うんで表現が難しいな。
1:12:26	説明。
1:12:29	できることが前提で、私もそうだったと言った記憶もあるので、そういうことを整理させます。はい。はい。
1:12:41	できないということです。
1:12:44	はい。設置するの人間なので何ともあれですけど、そういうことではい。
1:12:50	はい。竜巻防護体制
1:12:54	埋める
1:12:56	とかなりますます難しい。

1:12:58	だと思うんで、
1:12:59	そういう説
1:13:03	コサクです。非常に危ない橋を渡っているように聞こえるので、
1:13:10	早急に詰め切ってからというよりは
1:13:16	何ていうんすかね方向性がわかるようなものを早く提示をして、
1:13:23	場合によっては竜巻のようにですね、変更する部分が出てくるのであればさっさと変更した方がいいと思うので、議論できるように進めてください。
1:13:34	はい、日本エリアでございます。はい。とっても危ないような気もする。はい。おっしゃっていただいてる通りかと思えます。
1:13:42	はい、規制庁カセ
1:13:46	ここは整理は
1:13:47	横内君。
1:13:49	ホデ。
1:13:49	今回構造的、今回っていうか構造体利用の引き下げ要請が選択肢の中に入っていて、構造体利用の
1:13:59	竜巻防護対策設備
1:14:02	セガワコウエンドウ、
1:14:06	あるんでしょう。
1:14:14	はい。与儀ニシダでございます。これだったりですね、とっかかなきゃいけねえ投信で、
1:14:22	首藤 イトウの答申がヒライ設備の構造体利用の一部だということなんですけど、わからないですねこれね。はい。わかるように記載をしたいと思えます。はい。はい、わかりました。
1:14:36	そうですね集配機と次回がヒライ設備的な立ち位置になるという位置付けでこう書かれているということでしたら、はい、理解できましたのでちょっと、
1:14:47	そうですねわかるように書いていただければと思います。
1:14:52	と、45 ページ目の 11 番。
1:14:58	建物構築物のこの周ナイトウを除く社会構築物の話のところは、
1:15:04	構造設計のところですか。建物構築物の構造設計のところの 1 ポツ目。
1:15:10	ここは、ちゃんと 270 キロアベを、
1:15:15	雷撃電流、
1:15:16	設定して、
1:15:18	はい。
1:15:21	設計されてますよねまず事実確認なんです。

1:15:31	はい、乳井西原でございます。150 を超えて 270 ぐらいまでの話をしたいと思ってますはい。はい。その雷撃電流の目標、
1:15:43	設定値をちゃんとこう明記してもらわないとちょっと曖昧かなと思っていて、ここは 270 をカバーするように、
1:15:50	してもらうところですので、条約に則ってるから大丈夫だとかそういう話じゃないと。
1:15:56	思ってますので、そういう条件をちゃんと明確にしていただければと思います。
1:16:02	はい。いうエリアでございますそうですねはい。ありがとうございます収益等に捕捉されない直撃以外の影響を考慮してって書いてる部分が、まともに数字を書かないで逃げた表現なってるので。はい。直接的な表現にした上で設計をかけると。
1:16:18	ということで、整理させていただきますはい。
1:16:20	はい。社長返して、
1:16:24	落雷等の対処
1:16:26	そう収納する建屋はもう主語になっていて、これは、
1:16:30	150 をちゃんと考慮して作ったんですが、
1:16:35	安重タテやあは、何か書かれてないような気がしているんですが、このアンリュウ例えばどういう扱いになってます。
1:16:57	日本原燃志田でございます。そうですね、落雷防護対象施設を収納する建屋及び防護対象施設になる建屋はミナミの
1:17:07	表現は、同じだと思うのでこの中に入るよう記載をさせていただければと思います。はい。よろしくお願いします。
1:17:16	パッと 46 ページ目の、
1:17:21	13
1:17:23	うん。
1:17:25	47 ページ目の、
1:17:27	17、ここが今回ちょっと不可解で、以前はその挙力一の
1:17:35	許可で約束事項としてその 3 を 6 日にしますとか、2ヶ所以上で接続しますとかいろいろ書いて、
1:17:42	いて、許可の約束事として書いてて、第 2 回で説明するっていうふうに聞いていた話が、
1:17:49	丸々なくなっただんですが、ここ、どういう整理でしょうか。
1:18:12	はい、井上瀬谷でございますまずここはですねすいません。事実関係をちゃんと整理をするということをやらせていただこうと思って、まだ確定できてない状況でございます先に言わなきゃいけなかったね。
1:18:26	実際の許可の、

1:18:29	添付、
1:18:33	美味しそうに答えるわかった。
1:18:36	どっちなんで添付 3 に書いてある 3 ホーム自体が、
1:18:41	いわゆる
1:18:44	家の設計図書、
1:18:48	設計管理用の図書に事業部呉に対して 36 日だと書いてあるんですけど、これ
1:18:57	技術を見ても、当電気関係の規格を見ても、10 プロジェクトサワムラ間に直接的な関係性があまり見いだせなくてですね。
1:19:09	サンゴの根拠をどうやって説明しようか、悩んでいるところでありました。需要も下回る、それ以上下だったらいいということなんですけど、実際設計でやってる管理基準がですねさらにそれより下でして、接地抵抗上は、
1:19:23	その数字の間、関係も含めてどれでこの設計を書こうかなっていうのをまだちょっと悩んでるところでした。はい。はい。ここ。
1:19:33	担保の仕方が結構重要なところになってましたが、ここ、この担保ってどうやってされていこうとされて、
1:19:41	測定で、
1:19:43	はい。日本原燃志田でございます。実際これも現地でもやってる測定ですね、接地抵抗をはかってどれぐらい下がっているかというのをいうことを見ていくと、いうこと。
1:19:57	その時の基準自体は自治体さんのところではなくて、0.75 とかそんな世界で基準を設けてはかってそれ以下だということを確認してるという言い方なので、それとの関係で設計をどう書くかっていうところかなと思ってました。
1:20:11	はい、規制庁からじゃそういうことがちゃんとわかるように、今回もちょっとそこわからないまま出されたので何かやましいから削除したのかなとかそういう。
1:20:22	心証上る悪い伝わり方がしてしまうような、今回、
1:20:26	修正案だったので、ちょっとそういう旨は先に説明していただきかけたかなと思った次第です。
1:20:36	落雷関係他ない。
1:20:39	ですが、規制庁側から確認等ありますでしょうか。
1:20:45	特にないようでしたら次そのさあ、
1:20:47	まず 50 ページ目からなんですけど、ちょっと私の方から先に、先に説明いただいた 54 ページ目の 1819 の辺り、温度計の話で、
1:20:58	今回もちょっとまだ少し悩まれてるのかなっていうところで、

1:21:03	建物構築物とか屋内屋外機器配管のところに、間例えば 18 だと、
1:21:09	寒冷対応性を有する材料って書かれてるんですが、こういう言葉ってあるんですか。
1:21:20	はい。宮城根井でございます。世の中の的には探しましたがありませんでしたが、うちの設計管理基準上は端麗対応性の材料っていうのが、
1:21:31	もう使いなさいっていうのがあったので一応使わせていただきました。ここもう、もうちょっとちゃんとわかる日本語にしなきゃいけないんだって何も実際、
1:21:40	出たらいいんだっていうところだと思うので一般的な、
1:21:44	電力系の構成材を使えば何の問題もないと思うので、ちゃんと設計として伝わるように、記載をさせていただければと思います。はい。はい。
1:21:55	それはまだ何かあるんですけど、慣例対応性はわからなくて私も調べても、
1:22:02	わかるように表現していただく。
1:22:06	でも、構築物、
1:22:12	お話建屋のお話なんですけど、
1:22:16	今回その屋内機器配管、
1:22:19	の中で、屋内に本を設置するタイプの対象施設は、
1:22:25	吸気とかマイカノウ加熱して、
1:22:30	凍結から守りますとかってあるんですが
1:22:33	建屋自体の話が、凍結を考慮し、というふうになってきてるんですが、
1:22:39	ここで建屋に求められる特に防護対象施設側の建屋に収納するハバノ建屋に、
1:22:46	求められるものは、
1:22:48	それ自身が、
1:22:50	凍結し、
1:22:52	コウなんかなるっていうことではなくて、ナカノ者の安全機能を守ることが重要だし、
1:22:59	安重建屋自体はその安全タテヤノ。
1:23:02	安重機能閉じ込め機能をちゃんと守るっていうことが大事なので、今の書き方だとそういうことが全く表現されてないので、
1:23:12	何を対象にして、
1:23:14	守るかということ、合戦に、もうちょっと説明を追加していただきたいんですが。
1:23:20	その辺、
1:23:21	どう、どうでしょうか。

1:23:26	はい、宮城石田でございますはい。おっしゃっていただいていることは理解をしながらもうちょっと考えますはいおっしゃっていただいている土地としては、建物構築物が凍結を考慮するというよりは、建物構築物がこういうことは多分ないので、
1:23:41	そういう意味でいくと、守んなきゃいけないのは何ですかっていうと、どちらかという中に入ってるものが、
1:23:49	壊れないっていうかね温度が下がり過ぎて壊れないように、
1:23:53	いうことなんだろうなと思いつつも、あんまりそれを建物構築物に変えてしまうと、安重建屋そのものが何を要求してるかがよくわからなくなっていくところもあって、ちょっと書き方を悩んでたところでもちょっと考えます実際掘後で、
1:24:09	こちらこの間話があった問題をですね実際ホンダ入ってなくて建物のコンクリート自体の厚みが結構あるので、それでカバーできる外の外気の影響が直接ナカに伝わることはないっていうことが、
1:24:22	設計のコンセプトだということなんで、それも、どちらかという凍結で決まってるというよりは、航空機の話とか次耐震とかいろんなものに決まってる厚みがあることが前提で、
1:24:34	話をしているので、そういったところの関係も含めて、同柿原須賀はもうちょっと考えます。はい、わかりました。そうですね。鉄筋コンクリー
1:24:45	だけ、凍結とか熱伝導率がやっぱり高いので、圧厚さは十分
1:24:51	確保しなきゃ。
1:24:52	いうのは理解できるんですけど、
1:24:55	やっぱり温度ギャップを生じさせにくいことをしっかり考慮した上で建屋の中に入ってる。
1:25:01	事を説明しなきゃいけないところだと思いますので、
1:25:05	アクサは、一つ、その論点にはなってるかなと思いました。
1:25:09	あと、仲野区長は、
1:25:11	結構効いてるのかなと思いましたので、また引き続きちょ
1:25:15	何を守るかっていうことを念頭に、
1:25:18	表現していただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:25:23	はい、承知いたしました。
1:25:25	規制庁太田です。その他の関係は、あとは、私からは気になったところはなかったんですが、
1:25:33	規制庁側から確認事項等ありますでしょうか。
1:25:38	特にないようでしたら、ここ。
1:25:42	で、1回切って振り返りされますか竜巻と外傷関係。

1:25:47	はい、日本イシダでございます。はい、そうさせていただきます。
1:25:52	清調査役じゃよろしくお願ひ。
1:25:54	すいません、古作です。どこというわけでもないんですけど先ほど第1回イソダ2階層っていう話をした。
1:26:04	その続きな感じなんですけど、
1:26:07	夫、
1:26:11	等、
1:26:17	ちょっと場所が、
1:26:20	メモしてなかったのかわかんないんですけど、
1:26:24	縦軸、
1:26:26	並んでいくとき2、
1:26:30	等、
1:26:36	縦軸というかですね僕がよくない建物を、
1:26:41	対策と並んでたりして、
1:26:50	線を区切って書いているところで、
1:26:55	親を変えて、
1:26:57	いると。
1:26:58	いう時に、
1:27:01	それさかのぼった親のところを見るとそこもタテに区切れていて、売っているものと、
1:27:09	区切れず2全体で、
1:27:15	統合した状態で展開すると書いているものというのが、
1:27:19	あるような気がするんですけど。
1:27:22	それが
1:27:23	どっちのパターンも同じ事業。
1:27:26	親とコウが同じ行にある。
1:27:28	ものについて、
1:27:33	片や、
1:27:35	個別の
1:27:37	分類で親子があるのに、もう一方の方は統合したものに対しての、ここでしかない。
1:27:44	いうものがあつたんですけど、
1:27:46	そのあたりの関係性って何か整理されてます。
1:27:50	はい、日本イシダでございますまず、アシダと、私がかうまく統一できてなかったのが結果かもしれません。
1:28:00	なんて言えればいいんですよ。

1:28:05	親から子供子供からもうあれですけど降るときに、設計方針同士でやりとりをしているのであまり、共通項と分類、細かく分けるパターンと、
1:28:19	それぞれ混在することはない気はしながらも例えばですけど、ちょっとおっきな
1:28:25	受ける親が違ったりする時が、確かに親子関係で錯綜すると出てくるパターンもあるので、そういったときに分けて記載をしなきゃなっていうところはあるかもしれないところ
1:28:38	がちよつとちよつと統一して、整理をしてパターン化したいと思います。例えば 45 ページだと、
1:28:45	あれか。これ親からじゃないのか。でも撤回され、設計条件が違うってやつか。
1:28:52	具合、屋内で 7、9 の条件下。これ設計条件ですね。
1:28:59	であったり、子供、建物構築物、11 番から来ているものがあったり、いくつか親子関係で、託送するときに違うところからもらったりするときは、多分分けて記載をしないと、
1:29:13	いけないのかなという気がしますし、同じ番号から受ける時は同じ番号で展開をすると。
1:29:21	いうこともありな気がしますしちよつとどうあるべきかを考えて整理をしていきたいと思います。はい。
1:29:30	はい。補足です。よろしくお願いします。
1:29:35	そうですね結局何、何を受けてるのかっていうことによるんだと思うんですけど。
1:29:40	整理をいただければ、
1:29:42	と思います。以上です。
1:29:50	社長からそれじゃ、もしほか、規制庁側から確認等なければ振り返り、このまま引き続きで大丈夫でしょうか。
1:30:00	はい、どうぞ。はい。大丈夫です。
1:30:04	宮城中央でございます。
1:30:06	そうしましたら、振り返り両方していただきたいと思います。
1:30:12	納期関係ですけども、まず、18 番のところですが、配置上の考慮または、竜巻防護対策設備を設置というふうに一体化していただきましたが、
1:30:25	両者を組み合わせる場合の考慮事態っての踏まえて表現を見直すと。
1:30:29	ということ。
1:30:31	一つ、もう一つはナンバー35 番ですが、ネットの各個別のスポーツぐらい、これ断面フクイ性の確保というふうにならないものもあるので、表現を見直す。

1:30:41	いうこと。
1:30:43	同じく 35 番ですが、昭和防護ネットを構成する部材という記載になって、十分な強度を有する設計対象は、すべてのこの間、
1:30:55	必要な箇所について、しかしわかるように、表現を見直す。
1:30:59	いうこと。あと、34 番のポツですが、こちらのCクラス同Cの竜巻防護対策。
1:31:08	今、地震による大田。
1:31:13	を考慮するということが特有の要求であるということも踏まえて、6 条の記載の関係も含めて整理をして修正すると。
1:31:20	いうこと。それと 34 番と 35 番、これは 5 番と防護ネットのところですが、共通する設計についてそれがわかるような、識別表記すると。
1:31:33	いうこと。
1:31:36	1 日のメリット、こちらの作業目的と内容がしっかり伝わるように、本郷内田アノ充実したいと。
1:31:46	それと、添付 2-2 ですが、グルーピングした説明項目、こちら一緒にあって説明するというだけで、何を中心にどう説明するのかといったところが抜けているので、そこを検討して記載すると。
1:31:58	いうこと。
1:31:59	それとですね、それと関連してですが、このセキ成分類の作動というのは、わかるように、3 年表なり、比較できるような、
1:32:09	ものを作ってなくて、
1:32:14	そういう笠野が識別入オクボした資料を作成して指定したいと思い、
1:32:19	29 番ですが、この加古の記載について、屋外機器の配管等タカムラ構築と同じ記載になっているんですが、これ両者全く同じではなくて違いが当然ございますので、
1:32:31	それがわかるような、メッシュ間でしっかり記載をいたしたいと思えます。
1:32:37	これに限らずですねちょっと記載になってないかっていうところは、全体見て必要な修正は行いたいというふうに考えております。堀川以上です。
1:32:51	オギ続けて、竜巻以外の項目、距離的に一番大きいのは、竜巻で今説明あった添付 2-1-2 の台形を打たずに、
1:33:02	あわせて説明する整理と。
1:33:04	いうことを、田沼議員ぐらいのやつもやるというところで、
1:33:09	あとは、
1:33:12	個別に

1:33:15	活火山で話をしましたけど、共通項としては火山から竜巻に飛ばして粒子の衝突関係の話、これの
1:33:25	全体としてできるところを個別できるところそれぞれの地区担当わかるように、富樫伊井側受け側の記載の整理をしていくということかと思いません。はい。
1:33:37	あとは
1:33:41	事象それこれ以外っていうのは竜巻も含めてですけど、親子間 5 オオノ各階層の関係がわかるような設計方針の組み立て、体系ですね、これを作ると。
1:33:54	ということだと思ってます。はい。それが共通ですかね。
1:33:58	で、外部火災では、これは、
1:34:04	引き続き検討する、行きます代表、外部からどちらかというもともと類型して代表決めていくというコンセプトでやってましたが、他で言う代表との関係の整理までできてませんので、
1:34:17	全体を通して合理的に説明するための手法ということで、
1:34:22	来店をどうしていくかということを検討していくとその考え方をベースを詰めていくと、いうことをさせていただくということ。
1:34:29	あとは、外から絶対ないような設計を説明するときに、言い回しが多少違ったりするところは何を言いたいかをちゃんと統一して
1:34:40	説明の仕方を合わせていくと。
1:34:43	ということ。
1:34:44	あとは例示でお話がありましたが遮熱板に耐火被覆をするという部分が、または書きで思い込みで若干ずれてるところがありましたんで同じようなことになってないかというところをかも含めて、
1:34:58	見させていただくということ。はい。
1:35:03	あとは、外貨 53 床他も含めてですけど再循環のところ建物構築物が入っている表が今のものとわかりづらいですので、建物構築物としての設計の説明項目を書いた上で、それと紐づけて、
1:35:18	再循環の切り換えのシステム運用ですかね、もっと紐づけをしていくということかと思えます。
1:35:26	火山はカドノ 61 番、
1:35:30	アクセス制限のところですかね、今言ってるシステム設計で説明してる部分が外部からの輸送ができないと、できなくなった時との関係でいくと、
1:35:41	何を説明したいのかがよくわからないので全体に本を整理をさせていただきます。キーワードを追加すればいけると思いますが、整理をしていくと、ということ。あと落雷ですかね。

1:35:53	社外との答申自体を構造材利用しているということがわかるように、記載を整理していくということと、
1:36:01	竜巻対策設備との隙間の関係のところですね。
1:36:07	については、技術的にどう説明していくつもりなのかということを経済的に整理をして説明させていただくようにするという事かなと思います。
1:36:17	はい。
1:36:18	あとは紙廃棄等除く高い構築物、2 番目の高い構築物の意味ですね。
1:36:25	これ 150 名を超える 270 万円の間の話をしている間に 170 が上限で、それを受けても大丈夫だという設計をしなければいけないんだということがわかるように、
1:36:35	設計の内容のところを整理していくと、いうこと。
1:36:40	あと同じところで外来 11 のところで収納達する建屋の話だけしてまずけどアンリユウ建屋間防護対策そのものの建屋の話も集合でわかるようにしてこそ、
1:36:50	ですかね。はい。あとは、
1:36:54	外来 10 名の上野さん宇都元は接地抵抗の基準とあと実測するという事との関係も含めて、
1:37:05	設計上の考慮だつたりを整理をして記載を確保、もう一度考える。
1:37:10	ということかと思ってます。はい。
1:37:14	あとその他は寒冷地対応性という家の設計管理基準から持ってきたよくわから日本語は一般的な日本語で提示をします。
1:37:24	あとは凍結に対する建物構築バーの制定ですね、これは実際何を守らなさいいけないかっていう守らなさいいけないものからの、
1:37:35	整理名設計の内容を整理をしていくと。
1:37:39	ということかと思ってます。はい。以上です。
1:37:44	はい。室長。
1:37:46	規制庁側から今の振り返りで確認とあります。
1:37:51	特にないようでしたら、
1:37:55	次、溢水薬品なんですけど、ヒアリング開始から 1 時間半経過してるので、一旦休憩入れたいと思います。
1:38:06	うん。休憩入れて 20 分の再開で原燃側よろしいでしょうか。
1:38:18	はい。日本原燃、はい。20 分再開よろしくお願いします。はい。次ニッタの感じします。
0:00:00	録音を再開しました。土岐セキ山内でちょっとそれではね一声薬品の資料のこの資料について確認したいと思います。まず原燃側から説明をお願いします。

0:00:14	はい。日本原燃の高井でございます。では11月24日提出の溢水及び化学薬品の防護に係る評価要求と構造設計とほぼ設計項目整理について、
0:00:26	ご説明いたします。まず1ポツの概要のところ青字で少し変更させていただいております。溢水及び化学薬品に関しましては設計項目の説明グループ2というところでご説明をさせていただきたいというふうな形で
0:00:42	考えております。その中でですね水化学薬品につきましては要求種別を踏まえて展開しても評価にしか繋がらないというところで基本設計方針等の要求を吟味した上で構造設計等を整理する必要があると考えてまして、
0:00:57	その中でですねヒアリングでこれまで論点となっている基本設計っていう基本方針というところ、一部ご説明できてない部分があるというふうに思っておりますので、これを説明することによって設計項目を守れなく、
0:01:10	抽出するということを観点でいった今回、ご説明をさせていただきという趣旨でございます。
0:01:17	本整理説明グループ1と説明内容重複しないかというところ、あと全再処理施設全体の共通人員等の合理化というところを進める上でも、現時点ではやらせていただきたいなというところが、本日の後でヒアリングの位置付けというところで、実施いただければと思います。
0:01:36	2ポツでございます。2ポツの方はいつまでの添付1でございます。今回修正した内容、先ほどのですね竜巻、あと外傷の方の内容と、
0:01:48	同等の形で親子関係、孫も含めて整理をさせていただきました。
0:01:54	その中でですね本本日いただいたコメントを階層の整理というところと全体の累計というところの整理というところは、市の方もやらせていただきたいというふうに考えてる次第でございます。
0:02:08	衛藤2ポツ以降ですね主な整理内容というところで具体的に青字に書かせていただいたところがこれまでのヒアリングでも、ご説明すべきというところに対応方針とかで整理していたところ、
0:02:22	これは資料34というところでどのような項目を整理するかというところ、下線を引いてですね説明記載をさせていただいております。
0:02:30	2ページ目以降でございますが、
0:02:33	その中でですね矢印で書かせていただいているところが別紙のところ具体的な基本方針をCESA示させていただきたいというところでございます。
0:02:44	あとですね下線だけを引いている部分というところはですね、それぞれ
0:02:51	2ページ目でいけばですねかっこいいというところの溢水量のところ、

0:02:55	であればですね、ここでは想定破損のときの破損形状というところが、 溢水防護区画ごとに異なると。
0:03:04	いう時にはスルー、同一系統内でも異なる場合にはそれを明確化し、す るというところがここヒアリングの中でありましてその対応方針を書いて おります。そういうところは資料 3 というところで、
0:03:19	区画ごとに 0 週破断貫通クラックとは、あとハザード想定なしというところ を示すことによって、それぞれの破損形状を示すと、というようなところ を整理をしていくというところを考えているところを記載しております。
0:03:34	という流れでその中で 2 ページ目 3 ページ目 4 ページ目というところ で、下線を引いたところが具体的な設計項目、矢印っていうのが基本方 針として、
0:03:44	別紙でまとめているところというところで、整理をさせていただいたという ものでございます。
0:03:50	加えて後程ですが添付資料 1、後ろについておりますが、ここでの修正 として、溢水、化学薬品レポートである時十分できていなかったところと していこう。
0:04:03	設計説明分類ごとのですね、設計項目っていうところが、明確になって いなかったというところで、何も統合さしてはですね。
0:04:14	そこが具体的に記載ができていなかったというところがございます。
0:04:19	そこはですね、当時資料の 34 ページ目以降、添付資料 1 がついており ますそこで、具体的に屋外屋内、建物構築物、対策設備というところ で、
0:04:31	分けさせていただいたというところと、あとは、
0:04:35	その設計説明分類間で飛ばし合いというところはあります。その中で屋 内機器配管と、
0:04:42	いうところから対策設備に飛ばすというところがアノはあります。そういう ところの斜めの飛ばし合いというところについても、そう具体的にどこの 設計説明分類で飛ばすかっていうところを明確にさせていただいている と。
0:04:55	いうところが、昆本日の修正の主、大きなところでございます。
0:05:01	4 ページ目でございますが、こちら 3 ポツというところで、化学薬品の方 で添付資料 2 というところでまとめております。
0:05:10	基本的にはSE側と設計項目同一の部分が多いので、そこについては 参考資料での比較も含めてですねサ本があるなしっていうところを明確 にして、
0:05:23	記載を合わせているという状況でございます。

0:05:26	その中で化学薬品特有というところについては、一番は整理手順のところの二つ目の矢じりで書いてますが、化学薬品の構成部材の組み合わせを決定するとかですね。
0:05:38	ていうところで伺って薬品としての、何を対象としなければいけないかというところの抽出。
0:05:45	あとはですね有毒ガスに対しての影響っていうところ、小コウについての性設計等も何を説明するかっていうところの、
0:05:56	的場シライというところが具体的に必要だというふうに考えています。あと主な整理内容というところではですね、溢水と違う点としては、
0:06:07	消火水での放水に対する溢水か、と比較してですね消火剤の放出というところについては、化学薬品の漏えいというところから対象外というふうにしているということを基本設計方針で明確化していると。他、
0:06:23	違う点というところ、あと屋外での化学薬品の漏えいについては、運搬中のタンクローリーというところからの漏えいというところも考慮するというところが、具体的な変更したというふうに考えています。
0:06:38	またですね化学薬品対策設備というところについては、当然科学的な損傷というところの体制っていうところを設計として確認していくところが、違う点だというふうに考え
0:06:51	というところの違いというところを明確にしております。
0:06:55	すいません、少し説明が長くなって申し訳ないんですが、別紙1からA1 A1 からA1-1 から1-4 というところで、それぞれの基本方針をまとめております。
0:07:07	後本日の資料、選定のまず一つ目が、選定の考え方といいながらですね、あまりちょっと前、考え方というところが具体的に書けていないのかなと。
0:07:19	いうふうには認識しております。
0:07:22	これ実際に今、何をしようとしてるかというところというところはお説明をしたいなというふうに思っています。まず1-1というところ、5ページ目でございます。
0:07:35	こちらの方はですねももとの経緯としては評価対象設備ってところの選定というところが一部、
0:07:43	漏れていたというところを過去のこれまでのヒアリングのところでお説明をしているという状況でございます。
0:07:52	どういった状況だったかというところにつきましては、
0:07:57	上位の対象設備に対するき
0:08:03	評価値、評価ですね、評価はしていたのですがそれに附属する機器、下位クラスの設備というところとか含めてですね、それで悪影響を受け

	るかどうかっていうところの確認ということがきちんとできていなかったと。
0:08:18	いうところがこれまでもとの趣旨であります。それを踏まえてですねノモト、チェック申請している設備に対して、悪影響が及ぼすような機器っていうところについても評価対象として、
0:08:33	選定するということがここでやりたい趣旨でございます。その趣旨に従って、その風土記がどのようなものがあるかっていうところの抽出をしたと。
0:08:44	いうところがこの
0:08:47	資料というところのやりたいところというご意見でございます。
0:08:51	続きまして、ページ飛びまして 11 ページ目でございます。
0:08:59	こちら別紙 1-2 というところでここにつきましては屋外の宇井水源水量というところについて、あまり十分に整理ができてないのではないかとというところ。
0:09:10	がございました。その中でですね屋外のイシイ影響評価に対して、どの設備が水源になるのか、それに対して溢水量をどうするのかというところの整理というところを、
0:09:23	やっているというところの記載をさせていただいております。
0:09:27	具体的に配置、
0:09:30	屋外の水源のですね、距離とかですね、高さというところを考慮する、あとは起因事象というところを考慮した上で、それでどのようなところが一番厳しい、水減衰量になるかというところの整理をしたというところの、
0:09:48	結果というところ、あとはそもそもの評価として、広域の評価と、当発電所に局所評価っていうところの、必要性というところの整理というところを 21 ページ目まで出ささせていただいてるというものでございます。
0:10:04	その説明をさせていただきたいと思っております。
0:10:07	別紙 1-3 でございます。22 ページ目になります。
0:10:12	こちらにつきましては、燃料プールピット等のスロッシング評価後は止水だし、蓋、止水だと、止水部だというところの設置、
0:10:24	関しましてこれまでちょっと下へ変更があるというところの御説明をす。
0:10:30	していますが、そもそもの許可との全体の整理というところできていないということで一連の説明というところをさせていただきたいなど。その中ではデービー側ですね、プールピット等の機能維持に関する必要な水の整理と、
0:10:46	いうところと、あとは衛星 42 条側での外の有効性評価の初期、初期条件。

0:10:53	となる水への影響というところを、全体を生成整理して今考えている状況というところをご説明をさせていただきたいというところが 22 ページから 20。
0:11:05	8 ページ目でございます。
0:11:08	1-4、別紙 1-4 というところにつきましては、こちらですね、もともと漏えい検知確認に関しては設備に期待しないと。
0:11:18	いうところで具体的な漏えい検知の方向、あと隔離の方法というところ、あとはそれに対する設備の扱いというところが、不明確で説明ができていなかった。それが今後設計項目として、
0:11:32	眼しなければならぬ点だと考えておりますので今漏えい検知をどのようにや、やろうとしているのか、確認方法をどのようにやろうとしてるかっていうところをご説明するというところが、33 ページ目までの具体的なやりたいことでございます。
0:11:49	以上が別紙 2、具体、個別の内容でございます。34 ページ目以降は先ほど言いました内容というところを設計設計分類間の整理というところと、
0:12:01	あと親子関係というところを整理をさせていただきました。
0:12:04	ええと 60 さ、3 ページ目以降ですね。
0:12:08	失礼しました 64 ページ目以降ですが化学薬品についても同様の整理を行っております。
0:12:15	1 点だけ、67 ページ目の 15 番になりますが、
0:12:22	ここについてはですね、衛藤科学きちんとコース制部材の組み合わせを踏まえて、各計器を設定すると。
0:12:31	言っていて、ここで評価にしかかけていないというところになります。本来はですねこの冒頭宣言 14 番以降上の方で受けた、構造設計というところを踏まえてですね、この構造設計というのを記載しなければならないところは、
0:12:46	記載が漏れていたということが気づきましたので、ここは修正をさせていただきたいというふうに考えている次第でございます。
0:12:54	その他、以降は
0:12:58	参考資料と性基本設計方針の比較というところをやらしていただいて、どのような差異があるかというところを示しているということでございます。
0:13:09	はい。
0:13:09	本日の内容の説明以上でございます。
0:13:15	規制庁山口です。そう。総務の神野で順番に確認したい。
0:13:21	思います。

0:13:22	まず本文のところなんですけども、
0:13:30	これは 2 ページ目。
0:13:34	ページ目のイの、
0:13:36	ローマ数字 3 ポツの
0:13:38	二つ目の矢羽根です。
0:13:40	ここでプールスロッシングの話について、
0:13:46	配置を示すとともに低減に係る蓋板野部隊の設計を個別説明実施するため、
0:13:53	という説明があるんですけども、今その共通 12 でコウアノセ。
0:13:58	基本的には共通順位の中で小グループ設定したのを順番に説明するっていう中でここでその個別説明っていうふうに、
0:14:05	こう言ってるのってこれ、この意図って何か確認させてください。
0:14:24	はい。日本原燃の高谷でございます。冒頭の負債というところで、繰り返しになってしまう。その中で説明グループ 1 との間、
0:14:36	ニワなってしまいますが、今回、ここ説明をさせていただきたい理由としては
0:14:43	これまでのヒアリングで論点となっている項目も、の基本方針を説明して、設計項目っていうところをもれなく抽出するっていうところでそれによってですねこれ、今後、まず最初に進めていくのは説明グループ。
0:14:57	1 だというふうに認識しております。そこでの説明内容というところの重複というところがやっぱりないというところが、今回の項目の整理っていうところの一つ。
0:15:10	今やらせていただきたいというふうに考えた理由でございます。
0:15:15	以上でございます。
0:15:18	Hはヤマグチです。
0:15:22	この文章で例えば具体の設計は個別説明で実施するためっていうことで書かれてるんですけど今話あったように
0:15:29	設計は共通順位の中で展開して各必要な資料の中で説明されるとは思いますがその前だった意図して今回補足で、
0:15:39	四つの項目を挙げて、
0:15:42	事前に説明してるっていうことだと思うんですけども、
0:15:47	ちょっとその位置図系。
0:15:50	本が、
0:15:51	ちょっとわからなくて、例えばその、
0:15:56	今回この本文で論点、

0:16:00	箇所はこれまでヒアリングとかで話があった論点は下線で示していただいて、その具体に共通順位はどこで展開するかっていうところを括弧書きで資料3とか4とか書かれてるところは
0:16:13	具体、どこに展開されるのかがわかってそこはよかったんですけども、
0:16:18	今回のその補足。
0:16:19	御説明として先に4項目挙げたやつの、これらの共通12の展開として、今回どこまで説明して、
0:16:31	結局その目的として、
0:16:34	最初冒頭説明あったように基本方針を説明することで設計項目を明確化し、とかグループ1のその説明内容と重複しない。
0:16:44	何か確認しているのは目的だって結局、今回どこまで整理されて、共通中にどうせない、展開させてく展開、つなげていくのかっていうところが
0:16:56	今本部にも示されていないんですね。
0:17:03	今回その四つの項目食うも、
0:17:09	今やってるその全体としてのタスクで、まずDBの設計項目の整理っていうところをやって、なんでそのDBの設計っていうのを、
0:17:19	着目して説明するのかと思いき、SAについて触れて、
0:17:25	途中、整理を変えているものもあった一方何も触れてないのがあったりっていう、
0:17:31	感じで、
0:17:34	すみません、古作です。
0:17:37	整理途中だということで私も諦めて見てたんですけど、
0:17:42	今後SAが入ってきて、その時には入れ込んでいく必要があるということからすると、先取りして書いてある部分はあるんだろうなと。
0:17:53	思っているんですけど、
0:17:56	その際、最終的にはですね、入れ込むのは結構ですが、そこにDBとしてはSAとしてはこうと書き分けないといけない。
0:18:05	だと思うんです。
0:18:08	そのあたり、どう認識をし今作業をしているかその状況をまずお話しただけですか。
0:18:21	はい。
0:18:23	エミのタカヤでございます。はい。
0:18:29	まずはですね回答としましてはDB側での必要な設計項目、SA側での設計項目というところをそれぞれ抽出して、それで合理的に説明をどうするかっていうところを整理しないといけないというところは認識してます。

0:18:44	本日の資料において、このSAのルールのところですねSAの影響というところを書いてしまったのは、やはり書き過ぎの先取りというところで、本来ここ、すみません、ごめんなさい、しれない。はい。
0:18:56	先取りしたいから出してきたわけですね、きっと。進め方冷やでも、待っていると、ちょっとここ、
0:19:06	対応として困るので、早めに相談したいとかっていうことを言われていたのが多分これなのかなと思ったんですけど違います。
0:19:15	はい。日本原燃高屋でございます。おっしゃる通りではない。説明したいというところは、これで影響、いろいろ変わりますが影響というところはなないということをご説明したかったというのがはいございます。
0:19:27	ちょっとごめんなさい影響ないということの説明したいっていうと大分違って、今後影響し得るから、早めに論点として提示をして議論したいってことですよね。
0:19:39	はい。乳井の高井でございますはい。失礼します。おっしゃる通りでございます。
0:19:44	補足です。そういった趣旨がしっかりとその概要のところには書かれてないからわかりにくいってことだと思うんですよね。
0:19:52	で、今後論点になるからといったところをそもそももう我々の方も、論点になり得るからというので、3月4月でしたかね
0:20:05	倒して、00 資料の中でもいろいろと議論させていただいて質問をしそのコメントリストが膨大になっていたと。
0:20:16	いうことだと思うんですけど。
0:20:18	それをどう、
0:20:21	すっと回答していくつもりなのかというと、いや、別紙作るのはいいんですけど別紙作るにしても、
0:20:30	a.
0:20:31	1 でしたかね、
0:20:37	この別紙の後についてる資料のどこの部分の論点なのかと。
0:20:42	いうことはわかるようにしてどういうふうに
0:20:48	解決していくのか、共通 12 の中で埋め込んでいくつもりなのか。
0:20:53	その埋込能方針があっているのかと。
0:20:56	いうことも議論できるようにしておかないと、その悩んでいるところっていうのがクローズしないんじゃないかなと。
0:21:04	思うんですね。
0:21:06	そ。
0:21:10	山口さんはその趣旨で言われてたっていうことですよ。
0:21:14	はい。

0:21:18	はい、古作です。その点は、高屋さんまずご認識いただきました。
0:21:24	はい。日本原燃の高谷でございますはい。おっしゃる通りまず添付1のどこの論点なのかっていうところを言ってどう解決していくかっていうところをやっぱ、はい。明確にすべきであったというところでは認識いたしました。
0:21:37	はい、奥です。て、
0:21:41	というので今後その
0:21:43	への議論を別紙1の123知って、具体やるときには、添付1のどの部分での悩みなのかと、というようなこととかをお話しいただきながらと。
0:21:55	ということかなと。
0:21:56	思ってます。また現状で園部添付1の方もですね、これDBの方針等SAなのって悩むようなところが、
0:22:06	あるんだと思うので、そのあたりも論点として、
0:22:10	挙げておいて今後、SAと統合する際に、DBとしてはこうで青々とした方です。
0:22:17	いう話に整理がしていけるように、ポイント出しをするのかなというふうに思ってます。
0:22:24	山口さん、
0:22:25	また続きよろしく申し上げます。
0:22:29	1 ヤマグチです。
0:22:30	よろしく申し上げます。これまでのヒアリングでも、やっぱりこの事前にウツミするっていったところのその共通12ウツミ見てくナカためのという位置付けなのかっていうのは明確にしてっていうのをお伝えしていたと思うので、
0:22:44	よろしく申し上げます。
0:22:50	昨日、
0:22:51	それぞれの確認、
0:22:54	事実確認していきたいと思うんですが、まずちょっと本文のところまでで他あります。規制庁側からもしあれば、
0:23:02	規制庁岡ですと、ちょっと事実確認なんですが、3ページ目の、
0:23:07	2ポツの二つ目のところで、今回
0:23:13	いろんな絡み価値パラメーター等を、資料4の方で、
0:23:17	説明していきます
0:23:20	遮断弁を含むっていう子、これで何の話、時間です。
0:23:29	はい、植野高谷でございます。はい。すいません短縮してしまう。おっしゃる通りでございます。緊急遮断弁が、何分何秒以内で停止。
0:23:37	閉止するかとかそういうところの時間の話でございます。

0:23:41	はい。
0:23:42	わかりました。で、あと先ほどもあった通り
0:23:46	プールピット等の
0:23:49	説明をするときのやつが、三つ目のところで、その2ポツの三つ目のところでまずは、
0:23:55	書いてあって、基本的に、先ほど個別説明とかもありましたが、ここで、
0:24:03	プールピット等一連の説明を止水パンフたの配置とか構造も含め、
0:24:09	まずは共通ジンノんなりではしていく。
0:24:13	ということなんですか。
0:24:19	はい。日本原燃の高谷でございます。今、私の整備という形になってしまっていますがはい。おっしゃっていただいた通りの整理で、基本設計方針の
0:24:31	評価のところ、具体的には32番33番というところのところではい。全体を説明しようというふうに考えております。はい。
0:24:40	はい。成長させました。
0:24:43	再処理の設計説明グループ2の、
0:24:47	時期っていうのが、大体いつごろを想定されてますか、グループ1がいつごろまで、会合にかけるかとか、ちょっとその辺の進め方のめどというか時期的な、
0:25:00	めどがもしあれば教えていただきたいんです。
0:25:14	はい、二本木の石田でございます。今、最初の杉尾ドイですが
0:25:22	説明グループ、順番にというよりは可能な限り論点がありそうなものを、頭の方は並行して、
0:25:31	やらせていただきたいという意味も含めて、グループには、
0:25:36	この間も昨日欠測ですかね年明けと言った話で、おそらくグループ1がまだ終わってない段階でも、グループ2を出させていただくということも視野に入れて今検討しようとして、進めようと思っておりますが、
0:25:53	それがどういうふうに全体、こちらの説明の力量というか、進め方も含めて、実現できるのかと、いうことがまだ説明できてませんので、そういったことも含めて今後進め方の中でご説明ができるようにしていければと思っておりました。
0:26:10	はい。失礼します。わかりました。そろそろこんな
0:26:15	いろいろ考えられてる思うんですが、
0:26:17	そろそろ2024年度上期の早いほうが、
0:26:20	出てきて、その辺との兼ね合いもちょっと気になっているところ。
0:26:24	の中で、23ページ目にスロッシング評価の結果が2月、
0:26:29	ミドルって書いてあって、どう、どういう感じでこう、

0:26:34	進めていく、整合させていくのかなというところが気になった次第で、伺ったままで、
0:26:39	また進め方の部屋の方で、少し整理されたものを聞かせてください。
0:26:44	は、補足です。
0:26:47	上期の分というのは置いといてですね。
0:26:50	それは改めて実コウで、必要なことというのを積み上げていって改めて説明いただくということだから、
0:27:01	これまでの宣言は私は何も意識してないんですけど、一方で言われ、
0:27:08	おうかが懸念してるようにですね、かといってずっと何も言わずにだらだらと続けるというわけにもいかないの、そろそろ積み上げませんかっということだと思ってます。
0:27:21	その際 2 例、
0:27:26	特にこの辺りの案件はどういう、論点が残っていてそれを潰し込むの、どうやっていくのか、それにどれぐらい時間かかるのかと。
0:27:35	いうことだと思いますので、今回別紙 1 の 1 から 4 付けられてですね、特に今の評価なんかでは時間としての課題もあるということのようなので、
0:27:47	そのあたりを明確にして示していただくということかと思えます。その際にですね、先ほどのイシハラサノ
0:27:57	分だとする等、
0:28:00	1 月、2、
0:28:02	まだ解析もできていないけど、
0:28:06	資料 3 としては、
0:28:11	このグループにオダしていきたいということですかね。
0:28:16	はい。日本インダでございますはい。設計としてどういうことを考慮しなきゃいけないかっていうのは甲斐関井の大方のあたりがつけばですね、
0:28:27	設計上の考慮は引き出せるかなと思ってまして、そういった段階で、資料 3 までの形を整理をしてお出しできればと思ってました。はい。
0:28:40	工作ですその辺りっていうのが非常に大事だと思うんですけど。
0:28:47	その表カー。
0:28:49	の成立性があるのかみたいなことから含めて確認していかないと辺りとしてもこちら理解できないところがあってですね。
0:28:58	そこら辺の説明方針ってついてます。
0:29:05	はい、日本石野でございます。おっしゃっていただいて少なくともある当たりをつけてこういうロジックで説明が成立すると、そういうの我々がこう考えているということが、

0:29:20	資料3を作る上での前提になると思いますので、先ほど、年明けにはと いうことの前にはですねそういった課題がある程度片づいて説明ができ ていると。
0:29:33	いう条件が、当然、成立条件としてはあるというふうには思ってます。
0:29:39	はい。補足です。そう思っているからこそ、今日、
0:29:45	別紙を指名されたと。
0:29:48	ということだと思うんですけど
0:29:51	大分、
0:29:52	足りないなという感じがあって、キックオフと図でしか思えないところがあ るので、今日の話の踏まえて、今後どう進めれば、そういう流れにできる のかと。
0:30:06	いうことは整理をしていただければと思います。
0:30:11	で、
0:30:13	当す。
0:30:15	短期的にはそのグループの説明をどうしていくのかというところの刻み ですけど、1オオキで言えば、そのグループ3仕事を続けてというところ のスケジュールと、
0:30:28	ということにもなるので、耐震の方も動き始めるところがありますから、12 がⅡ。
0:30:37	中にあれですかね何らか整理されるってということですか。ちょっと進め方 ヒアっぽくなっちゃいますけど。
0:30:44	はい。切りソヤでございます。はい。
0:30:48	おっしゃっていただいている通りでグループ1を出して説明をしながらグ ループに行動していくのか、グループ、
0:30:58	何、何7までありますんでこれをどうしていくのかと。
0:31:02	いうこと。うん。
0:31:05	本来であればっていうんですけど再処理としての説明をどうしていかっ て言われているのはカガワ。
0:31:11	深めた時点で、形を作りたいところではあると、ある程度個人的な思い ではあるんですけど、とはいえ、今後、中長期的どう進めていくのかって いうのを、グループを設定しながらも、
0:31:24	グループ、これDグループ3まではある程度それぞれ並行しながらもそ れぞれのパーツとして説明をすると、D4以降はある程度固めて、
0:31:34	行けるものもあるのではないかなということも考えてますのでそういった 進め方をどうお考えしているかっていうところは、そうですね年内にはある 程度考え方を示して、それを、

0:31:46	グループ 1 の説明を続けながらブラッシュアップしていくと、確度を上げていくということかと思ってます。はい。
0:31:54	はい。コサクですよろしくお願いします
0:31:58	今の特に資料 3 での話ですけど資料 4 の方も整理の方針大分話を して
0:32:08	その際には、資料 3 との絡みも含めながら説明順番なり時期というのも お話をされるということだったと思うので、12 月中何らかに見える方全体 が見える形ということなんだろうなと思ってますのでよろしくお願いします
0:32:25	話をちょっと戻す等、この 3 ページ辺りとか妥当、今のワダにあった 2 ポツと言ってる
0:32:35	例えば、評価括弧防護方針の整理と言ってる、
0:32:42	資料 3 のこと言ってるのかいろんなこと言ってるのかというのが非常に 今なんですけど、中身を見ると、
0:32:54	一つ目の矢羽根は配置設計として示すと言っていて、資料 3 の話。
0:33:01	その次ワー最後にカッコ資料 4 と書いてある。
0:33:06	言う古藤なんですけど、どういった視点までは資料 3 で示す、どういった ところはそれを受けての資料 4 で示しますってことを、
0:33:17	ここで整理をしたいという整理をしたいというか
0:33:22	添付 1 の方でまとめていてそれを要約してきたと。
0:33:26	ということ。
0:33:27	なのか。
0:33:29	或いはその矢羽根三つ目に行く等、別紙でとなっていてまだその点が整 理できてないということなのか、そのあたりの看護今日の趣旨を説明い ただけますか。
0:33:41	はい。今おっしゃっていただいた通り資料 3 資料 4 で何を示すかってい うところが本日の趣旨でありましたんで
0:33:53	そういう点では今、別紙 1 から 1-1 から 1-4 というところが、資料 3 で何を示す資料 4 で何を示すっていうところが、全然書けてない、設計 項目を掛けてなくてですね。
0:34:06	基本方針しか書けてないということなのでそこが、書くべきだったとい うところで、認識してはいると考えております。以上です。
0:34:17	とコサクです。
0:34:20	課題ですだけだと、すぐなっちゃうので、ある程度認識を合わせるような 議論ができればと思うんですけど、評価で
0:34:31	でも評価条件としての、その構造設計なりで説明できる範囲はちゃんと して、

0:34:38	その
0:34:40	状況理解があった上での評価に入ると、具体的に言うとその評価の断面では、選定なりなんなりというところろよりはまだ、そのところでの数字の話をしていくと。
0:34:52	ということのかなと思ってまして、その点では、資料3の範疇で、すでに高レベル配管がどこで低レベルはところで、
0:35:06	溢水量として、見積もる時の溢水への範囲というようなところは、
0:35:15	検討、
0:35:17	システム設計で範囲が見えるように、
0:35:21	であったり配置のところで見えるようになったりというふうにしていきますっていう、大枠の方針なのかなと思っ
0:35:29	て。
0:35:30	見てましたけど合ってますか。
0:35:34	はい、上野高屋でございますはい、おっしゃる通りでございます。
0:35:39	はい、そうです。そのあたりがもうちょっと見やすくなるといいかなと思うんですけど。そう。
0:35:50	これで言うと、矢羽根の二つ目にあって資料4で土肥。
0:35:54	てルーのは資料3のどういうのを受けてということなのかと。
0:36:00	ということなん。
0:36:02	ですけど。
0:36:10	ここで書いてあるところの床勾配の考慮云々とかっていうのも、資料3で話できるんじゃないのみたいなところもあるんですけど、そこはどう考えてます。
0:36:27	はい。はい。有名な高谷でございます。はい。
0:36:33	はい。建物構築物の躯体というところでは、床勾配というところの配置っていうところを示すことができます。
0:36:41	はい。
0:36:42	そういう点ではそこが本文で伝えできてない。
0:36:45	ちょっともらえます。
0:36:48	はい、そうです。そういったところの精査をしっかりといただいて、ものとしては勾配あるんだけど、評価の扱いとしてはこうしますよというのは当然資料の方で、
0:37:00	認証されると、ということだと思いますので
0:37:04	そこをせっかく、添付1でまとめた上での集約だということであれば、仕分けっていうのがわかるように、どう繋がるのか、この単純にまとめて資料3、資料4というよりは、

0:37:17	関連性が見えるように整理をしていただくとイメージが合うかなというふうに思います。
0:37:24	岡さんすいません途中で割り込んでしまったので
0:37:28	今のお話を踏まえながら、元に戻していただければと思います布施お願いします。
0:37:33	話していただいて大分私も進め方、
0:37:55	規制庁ヤマグチです。本文でほか、
0:37:58	よろしければ、
0:38:00	別紙1の一位。
0:38:04	確認したいと思います。まず
0:38:08	主としてなんですけど、今回の対象設備の選定の考え方についてって いうことでこれで触れられてるのってDBのことだけっていう、そういう状況だと思ってよろしいでしょうか。
0:38:22	はい。日本原燃の高井でございますはい。現状、DBのことを記載しているという状況でございます。
0:38:28	わかりました。SAはまだ整理中ってということで、
0:38:32	SAの方は間瀬
0:38:34	優花
0:38:37	保管場所だけじゃないから操作場所の考慮、評価対象として操作場所の考慮のモリもあったっていう話もあったと思うので
0:38:45	それも含めてSEの方は多分整理されてる、整理中だとは思うのでまた、
0:38:52	適宜タイミングで説明いただければと思います。
0:38:57	藤。
0:38:58	マーケット。
0:39:00	今回は1.1ってということで選定の基本方針ってということなんですけども、
0:39:06	冒頭説明あったように今回
0:39:11	二つ目のパラあたりで、
0:39:13	今回その附属機器を抽出しましたってということで、唐突に説明が入ってて、
0:39:23	附属機器のその抽出の方法みたいなことを示されてるんですけどそもそも
0:39:29	先ほど個社上位の対象設備に対する評価をしていたが、附属設備のうちには漏れていたってことをタバタカハシさん説明されてたと思うんですけども、
0:39:41	その上位の対象設備、
0:39:43	に対する評価をしていたっていうのもその

0:39:46	評価対象として除く条件下もあったと思うんですけども、
0:39:52	その上位の方はまずどういう選定方法を強いてって、
0:39:57	全体としてこれまでどういう作業をしてて今回附属設備の抽出っていうのを次、それからやったのかっていうその全体像をもう少しちょっと説明いただきたいんですけどいかがでしょうか。
0:40:11	はい。日本原燃の高井でございます。1.1の方で記載させていただいてる案。
0:40:18	6ページ目に表1-1というものがついております。
0:40:23	それで全体イスイ防護対象設備というところで安重機能、
0:40:28	を持つ設備に対して被水をまとめ、から
0:40:32	安全機能を損なわないようにというところで対処するというところで選定をしています。その中で表の1.1で評価対象。
0:40:41	から外す設備っていうところはこういうものを外しますということで①から④。
0:40:46	を整理しております。一つ目が
0:40:51	すいませんコサクです。はい。細かな説明入る以前の問題で、はい。そもそも安重といったときに、どういうものがあるんですかという時に言われたその上位、下位
0:41:03	附属とかって何ですかっていうことなんですけど、そういう漏らしがないように、第1回の申請の時に、
0:41:14	安全上重要な機能或いは安全機能を担うものというのはしっかりと拾い上げましょうねということをやったはずなのに、
0:41:24	なぜ漏れるんですか、っていうことのような気がするんですけど。
0:41:31	高谷さんは第1回を知らないから、はあって思われてるかもしれませんがけど。
0:41:35	何なんですかね。そのために膨大な系統図とかを見ながらああたこうだやったはずなんですけど、
0:41:58	はい、宮城の高谷でございます。はい。吉井。はい。これまでの経緯も確認させていただいておっしゃる通り、その辺、認識し、
0:42:08	しているも、はい。
0:42:13	すいませんそこはコサクです。なので、論点をちゃんと整理しなくちゃいけないくて、今説明をしようとしてたその除外できる理由っていうところに入る前に、
0:42:26	ノミネートしていく母集団っていうのを取り間違えてたことが問題なん。
0:42:32	ですよ。
0:42:34	はい。人間だけ。はい、おっしゃる通りです。はい。母集団。

0:42:39	その対象というところが間違えたというところでございます
0:42:44	補足です。それはなぜで、どうやれば大丈夫になるかといったときに、
0:42:51	その母集団ちゃんと安全機能位として達成するために何が必要かっていうのをしっかりと上げると。
0:42:58	いうことが大事であって除外できるところからのっていうところの、以前の問題だと思ってたんですけど、それはやりました。
0:43:16	つまみ食いさせるイメージとして必要なもの。
0:43:20	の一部は上がっているなどは思うんですけど、網羅できてるかっていう説明になっているように見えなくてですね。
0:43:27	そのためにはまず母集団をっていうふうに思っているのでお聞きしてるんです。
0:43:37	はい。植野タカヤでございます。
0:43:42	ソネスタートというところは安全上重要な設備とは何だというところ、系統図、とかを含めて抽出するっていうところから作業を、
0:43:53	開始してもらっております。
0:43:55	んですがそこがどういう母集団のウノかっていうところの整理がままならないまま、そのまま附属機器というところのつまみ食いに行ってるっていうところおっしゃる通りだと思っております。
0:44:08	そういうところをまずあと論点の整理というところは廃止しなければ、今からまだしないといけないというふうに認識しました。
0:44:18	はい。補足です。なのでなぜそういうことが起きたのか、第1回の反省はどこに行ったんだっていうその全体像としてまず行っていただいて、その上で、戻って母集団しっかりと広告を見ました。それに対して、
0:44:32	影響はあり得るというのはこういうものですっていうふうに続けていただければというふうには思います。
0:44:40	一旦、山口さんにお伺いします。
0:44:42	はい。規制庁山口です。そんな話あったように、急に今今回附属設備を抽出し、機器やりましたっていうだけだとそもそも漏れがあったっていうところに対して全体像が見えないと。
0:44:58	わからないのでその
0:45:00	これまではどういう、
0:45:03	作業をして、原因がこういうところにあったから今回改めてこういう作業をしたっていうそういうところちょっと、
0:45:10	整理、
0:45:12	入れていただけたらと思うので、
0:45:16	お願いします。
0:45:20	はい。兵庫県の高井でございますはい、承知いたしました。

0:45:26	ちょっとあたしはあんまりわかってないんです。
0:45:29	だと思っんですけどその申請対象設備、
0:45:32	になってるかどうかその関係とかもちょっとわかってなくて、
0:45:38	附属機器っていうのは、
0:45:41	すべて今回の申請対象設備に入ってる者たち。
0:45:46	なんですか、ちょっとその関係。
0:45:50	教えてください。
0:45:56	コサクですけど、
0:45:58	まず、申請対象設備って言うてる時って仕様表対象設備、
0:46:03	と思われてます。
0:46:07	はい、植野高屋でございます使用分表以外も含めてだとか、考え、基本 と思っております。我々の整理では
0:46:17	01と2のというところを整理というところの中身、仕様表対象外も含め て、
0:46:25	対象設備リストだとか、
0:46:29	はい、そうですその場合に、附属設備っていうのはどうなります。
0:46:43	あ、ごめんなさい附属機器でしたね。
0:46:52	上野高でございます。すいません、所長松木。
0:47:07	推論って書いて、
0:47:10	何の論点かよくわかんない。
0:47:27	通じる。
0:47:29	しかない。
0:47:38	本庁側、マイク入ってますけどそのつもりでしゃべってます。
0:47:46	私の
0:47:47	しゃべりましたすいません。
0:47:59	規制庁コサクですけど、原燃何をやってるかちょっとあれですけど、私た ちは入ってると思って。
0:48:07	いてですね。
0:48:09	そコウノ、実際作業している方との温度差がこういう問題を起こしてるん じゃないかなと思ってます。
0:48:19	はい。日本原燃清水です。今古作さんおっしゃっていただいた通り、就 労の枝管であったり、
0:48:28	商標代表の古木って、
0:48:30	っていうのは、申請対象設備であるという認識がございまして、ただそ れが高であれば、
0:48:38	固有名詞で示してない機器というだけであって申請対象であるという認 識は思っております。

0:48:47	はい。補足です。なので第1回の時に共通09でしたかね。
0:48:53	いうところでしっかりと拾っていく、意識をしていくってことをしたはずなんですけど。
0:49:00	そのあたりが、なぜっていうところは先ほどのところで分析いただいと。
0:49:05	いうことだと思います。山口さんどうぞ。
0:49:09	はい。
0:49:09	店長山内です。
0:49:12	入ってるっていうことで、
0:49:19	等、
0:49:21	ちょっとオオモトのところの説明が不十分の中、ちょっと確認するのは何ですか、ちょっと
0:49:28	等確認しておきたくて、
0:49:30	1.2で、今回その附属機器の抽出は、
0:49:36	二つの観点です。
0:49:39	確認対象の無効整理しましたってということなんですけども、制御機器の有無と開口部の有無っていうことで、
0:49:48	この観点確認したんだと思うんですが、この
0:49:52	結果だけ示されてるんですけども、この二つの観点だけで十分なのかっていうところが、ちょっとわからなくてこの二つに整理されたその過程っていう考え方をお伺いしたいんですけど、お願いします。
0:50:16	はい。人間のタカヤでございます。こちらの抽出の作業というところで、どういった今おっしゃっていただいて、
0:50:26	内容で附属機器っていうところが、何があるのか、それに対して安全機能を損なうものが何があるのかっていうところを、それで調べられるかっていうところで接続の点、全体接続図とか、
0:50:40	系統図っていうところをこれまで、共通0時タイトウの時も見てきた、さらにそういう観点を、
0:50:48	見てですね、抽出漏れがないかっていうところまず再確認をしたということになります。それぞれを踏まえると、機種ごとにですねそういう附属機器ってところが、種絞ることができるんじゃないかと。
0:51:04	いうふうに考えております。それで附属機器を絞ってスズキ機種ごとに附属機器を各、
0:51:12	に対する確認対象を詳細に確認することで、漏れがなくなるのではないかとというふうに考え今このような整理をしたというものでございます。

0:51:22	その制御機器っていうところ開口部っていうところが、まず計装品というのは正規類とかアノ版とかも含めてということになると、いうふうに考えておりますので、
0:51:34	現時点ではこれ以上の対象物はないのかなというふうに考えているということです。すいません。コサクです。今言われたところが先ほど言ってたなぜし、漏らしちゃったとかそれを漏らさないように改めて、
0:51:51	ゼロから考えてといったときに、系統図云々でっていう共通 09 の対応に立ち戻ってということをやってきましたっていうのをまず書いていないのが問題だということは認識されました。
0:52:07	はい。日本原燃の高谷でございます。はい。ご説明しながらそのオオモトのところの原因が決まっていけないのに、それで、うん。その対策で良いのかっていうところも、おっしゃる通りだと思っております。はい。認識できました。
0:52:19	はい。補足ですねその上で、それをやった結果として出てきているものっていうのを全体をまとめると、表 1-2 になるということですかね。
0:52:32	はい。人間のタカヤでございます。はい、そう考えております。
0:52:36	補足です。その上で、
0:52:38	この 2 点に絞って書いてくからよくわからなくてですね。
0:52:42	この基準で並べているものが、溢水として、何の影響が性能として出てくるのかと。
0:52:49	いうことを並べれば、自然とフェア
0:52:55	この結論に至ってくるような気がしてですね。
0:52:58	そうなるよう 2 表 1-1 で、どういうものが機能喪失として影響が出得るのかと。
0:53:05	いうことをまとめられているんじゃないのかなと思ったんですけど。
0:53:11	そう、意図としてはそういうことですかそれとも何か意味違う形で書かれています。
0:53:21	はい。日本原燃高でございます。現時点ではその趣旨では欠けていないくてですね機種ごとに系統図とか展開図とさという情報を見て、どういう設備があるかっていうところしか見れていないというのが現状になります。
0:53:36	おっしゃっていただいている通り
0:53:39	それぞれの基準に対して、どういうもの、どういうときに安全機能を損なうかという観点で整理するって言った方が、はい漏れが発生しないのかなというふうにはい。
0:53:49	認識してました。はい。
0:53:51	はい、そうです。表 1-1 と 1-2、或いは先ほどの着眼点 2 点ということに、

0:54:02	大きく問題点が隠れていてですね。
0:54:06	ええ。
0:54:07	都丸に、表 1-1-02 では、静的機器ワー
0:54:14	対象外にしますと。
0:54:17	言ってるように見えるん。
0:54:19	ですけど、計装浜堤、静的機器の扱い。
0:54:25	になりませんか。
0:54:45	二本木の池谷でございます。ちょっと
0:54:48	ナカハタですいません。計装品、確かに制定機器という面もあれば、何らかのその機能として、制定機器として枠をくくるには、
0:55:00	さすがに乱暴だろうという気もしていて静的には入れてないんですけど、とはいえ多分表の 1-1 のくり方と、表の 1-2 の切り方みたいのが全然何かミッチーしてないので、そこがよくわからなくなってる。
0:55:15	原因の気もしますので全体として、溢水で機能喪失をするっていうのはどういうものがどういう状態になったら機能喪失するのかってのちゃんとさ、多分頭で整理をした上で、
0:55:26	それぞれの切り口を整理していくってことがまずは必要なのかなと思います。
0:55:32	はい、古作です。その通りで、そのためにも母集団をまずしっかりと出して、それに対してどういう影響があるのかというのは、まず並べましょうと。
0:55:42	ということだと思うんですね。なので、動的静的っていうのはかなり乱暴なので、表現は気をつけていただいて、
0:55:53	金井土佐業者が思い込みで間違ったところに入っていっちゃうっていう気がするので、お願いします。計装品で言うとう乱暴だと言われてるのは、動的機能信号になる。
0:56:07	ものっていうのは、動的と思って対応した方がいいでしょうっていう思いを持っていただいているんだと思うんですけど。
0:56:16	直接信号として使わないまでもう、
0:56:22	監視するためには必要なものであってそれが壊れては困ると、溢水によって壊れる可能性があるということで、ピックアップいただいているんだと思うん
0:56:34	その意図がちゃんと伝わるように全体を拾い上げていただきたいと。
0:56:40	ということかと思えます。で、その流れの中で、開口部の有無っていうところもうしっかりと、
0:56:49	拾っていけるようにということかと思えます。

0:56:55	はい、深山でございます。ありがとうございますおっしゃっていただいたようにあんまりですね、これ、多分パーツが、
0:57:03	一つ足りない気もしていつて、許可の時も整理しよう中だったかな、溢水での機能喪失高さを設定するときの考え方があって、
0:57:13	計装品みたいなやつは、軽装分、いわゆる信号やりとりする部分とか、中継してるボックスでも何か信号の規定になっていてそこがやられたらまずいよねみたいなところは、
0:57:30	計装品の買いかなんかの下の部分の計装部分にあたる前の部分の下側で、多分機能装置高さを設定しますとかってそういう、
0:57:39	考え方がもともとあった上で、じゃあ、それに該当しないものって一体何だろうみたいな、整理をしているはずなので、そういったところパート全部組み合わせて全体のストーリーウタっていう、
0:57:52	ということが必要なのかなと思ってましたはい。
0:57:56	はい。補足です。そうなんですよねって。
0:57:59	それで優等表 1-2 の電源盤なんかは、開口部はないため対象外とかって、何か全然、
0:58:07	温室で話をすることと違うことが書かれていたりということで、
0:58:12	もう何が何だかわかんなくなってますからその辺りも含め整理をいただければと思います。山口さんお願いします。
0:58:21	規制庁山口です。
0:58:24	表の 1 はもう、いまいちでちょっとわからないので整理して会社、
0:58:31	例えば、もう、建物構築物II。
0:58:35	について開口部、建物構築物でいうとその椅子開口部からその溢水が流入すると、ナカノ
0:58:44	0 安全機能です。範疇の設備が機能喪失したりするものもあるので、
0:58:51	今その開口部があるが、流入によるツジコミヤ遮へいといった機能が喪失する設備ではないため、確認対象外となっていてそれがちょっとよくわからないので
0:59:01	峰教育受けて、受けたら
0:59:06	どういう影響を受けるのかというところの視点で整理いただければと思います。
0:59:13	あんまりこの表、細かく今突っ込むのもあれだと思うんですけども、
0:59:20	補償までで、規制庁側から何か確認があればお願いします。
0:59:29	古作です。念のためなんですけど、表の 1-1 で言うと④で、フェイルセーフだからいいでしょうっていうやつなんですけど。
0:59:43	す、安全側の動作ではあるものの、何らかの金融事象を発生させてしまうっていうようなことにはなる。

0:59:52	んだと思うんですね。ていうか、外乱になるっていうんですかね。
0:59:56	いうところあまり望ましいことではないんですけど、
1:00:01	そのあたりは、
1:00:04	同許可で整理されてたんでしたっけ。
1:00:18	逃げイシダでございます。私の記憶の限りではあまり。
1:00:24	結構メール政府だからっていう、
1:00:28	かなり大鉈を振った値をふやして行って、あのときも確かにフェイルセイフって言っても、それが起こることによって、どんなことが起こるんだろうみたいな議論があった気がする。
1:00:39	最後はあんまりそこには手をつけてない気はします。とはいえ、おっしゃっていただいている通りで起こることをちゃんと考えてそれが許容できるのかどうかと。
1:00:49	ここは持ってる安全機能が機能、
1:00:53	オカイデないような状態になってしまっているのかっていうところもあるので、せっかく守ってるのに、というところも含めて整理をしているかと思えます。
1:01:02	はい。補足です
1:01:05	一応そういうところも抑えるようにしていただければなと思います。というのも、コウはまだあれなんですけど、添付1の方行くと、
1:01:17	多重性を確保するのに1系統生きてればいいみたいなこと書きぶりになっていてですね。
1:01:24	それって一、竜巻防護で許可で大失敗したポイント等であって、
1:01:33	火災防護は確か2系統分離ノー審査をするというポイントにはなっているんですけど、
1:01:42	溢水、
1:01:43	そういう設計方針でしたっけ。
1:01:47	はい、西原でございます。一睡もですね許可の段階で、
1:01:55	設計基準事項、
1:01:59	耐震に対処する責務は多重性を有していて、アノ井清によってその事故、
1:02:06	の対処に影響がないことっていうのは、多重化してるものを片一方、助けに行くっていうことを前提に語っていた部分もあった気がします。ただ
1:02:18	そこの整理をもうちょっと山として、いかないといけないと思いますのでそこは前提として考えてたかも含めて、機会を拡充させていただきま
	す。

1:02:29	確か堀田がナカジョウキタナカのところで、多重化してるものも、上記のターミナルエンドも含めた損傷時に、全国全部守るっていうことには、多重化してるんだったら、
1:02:41	形鋼を守るということを前提に考えましょうという議論だった気がします。はい。
1:02:46	はい。補足です。おっしゃる通りで、笠伊井の場合はその区画の中の機器を守るっていうのは無理なのでっていうことがあっての、
1:02:56	多重性能カクウの整理だったと思うので、何に対してっていうのをしっかりと認識をしないと、守れるのに守らないみたいにしてみる。
1:03:08	なっちゃうと、本末転倒な感じがするんで、そのあたりは確実にしていただきたいと。
1:03:16	ということですちょっと先走ったコメントなっちゃいましたけど、
1:03:21	とりあえず
1:03:23	今の段階で言えば東海林の1のフェイルセーフのところをちょっと気をつけていただきたいと。
1:03:28	いうこと。
1:03:30	です。
1:03:31	以上です。
1:03:34	規制庁山口です。
1:03:36	この後にそんなこと。
1:03:39	今回やった作業のイメージっていうことで56。
1:03:44	申出90ページですね、ちょっとずつ付けられてると思うんですけどもその例で、示すのであればそのンス確認手順がわかるようにコウタダテロってつけるだけじゃなくて、手順がわかるように補足とかを今後説明。
1:04:00	今入れていただきたいのでその辺りは対応お願いします。
1:04:07	失礼しました。
1:04:09	藤ほか、
1:04:11	別紙1-1で、規制庁側から近くにあれば、
1:04:18	規制庁なアライですけど、
1:04:20	今回の対象設備Gのところで、
1:04:24	対象設備を多めに抜ければ、後の評価が楽になるっていう、そういう、
1:04:31	心持ちがあったので、入れたのかなって思ったんですけど。
1:04:35	そういう思いではなかったんですか。
1:04:46	このまんま、この整理で生かしてくれればいいのっていうのが論点なのかなと思ってたんすけど、論点って何なんだろうっていうところがよくわからなくてですね。

1:04:57	はい。日本原燃高谷でございます。9 ページになりますが原因も書いてないんですが
1:05:03	あくまでも評価対すべき対象が抜け漏れなくやるために、これまで抜けていた、ここん。
1:05:11	抜けないようにするためにこういうことをやっていきますというご説明だというふうに考えております。はい。衛藤。我々がそれを見て気づいたってことでいいですかね。
1:05:25	今、今、原燃としてはこういう状況なので、そういう整理が必要だということ、今日のヒアリングをもって気づいたってことでいいですかね。
1:05:35	それとも、この整理でいこうと思ってたっていうんだったら少し、
1:05:40	何か許可の審査を再開した時ぐらいの、
1:05:44	ステータスに戻ってるような気がするんですけど。
1:05:53	宮城瀬谷でございます。許可のときある程度大枠その考え方を整理したただその時にはある種、
1:06:02	こういうことで機能喪失機能を守るから、ということも含めていろいろ考えてと言っはいたと思うんですけど許可上は大枠の方針を変えていたと。
1:06:13	実際せこいになってそれを具体的な設備に展開していくときにどうやっていこうかというところで、今回、明らかに抜けたんだらうと思ってますので、その許可での考えてた思い、eBASE、
1:06:27	大体背景みたいなものをしっかりと認識をして、具体の設備に展開していくということをまさしく設工認としての採用として今やらなきゃいけないと、いうふうに、なことかなと思います、
1:06:40	わかりました。
1:06:42	ちょっと資料の中には書いてないことがいろいろ出てくるので、ちょっと何が論点なんだろうとか、思うところはいろいろあるんですけども、認識の共有が図れたと思いますので、はい。
1:06:57	私からは以上です。
1:07:02	ければ、続いて、別紙 1-2。
1:07:06	1 ページからですね、ちょっと確認させていただきたいんですけども。
1:07:12	屋外の溢水の考え方っていうことで、
1:07:20	まず
1:07:27	と。
1:07:28	屋外の溢水元として、
1:07:32	を挙げて、
1:07:34	一部は、
1:07:36	水源から、

1:07:37	できますよっていうのが、表の 2-214 ページにあるんですけどその表の 2-1 の屋外タンク等の抽出結果っていうのは 1 水源として、
1:07:47	抽出結果っていうところで、
1:07:50	第 1 回の設工認の後再処理の補足説明資料でレギュ等の概略評価っていうところで示していた。
1:08:02	評価ってその補足説明資料でも屋外タンク等のその出現っていうのを示していたと思うんですけども、そこに入っていた。
1:08:11	燃料湯供給設備のボイラ用燃料です。
1:08:18	受槽
1:08:19	っていうのが、今回この表からはなくなってる間の図からも消えてるんですけども、
1:08:26	それって、どういう整理があったのかとか、
1:08:30	ちょっと説明をお願いします。
1:08:41	はい。日本エヌ赤家でございます。江藤。
1:08:46	すいません。衛藤今おっしゃっていただいたオイラー用の燃料、
1:08:51	油貯蔵タンクというところは、
1:08:54	江藤表の 2-1 というところで、No.4 というところで書いてきて、それが除外されてしまっているというところ。
1:09:08	規制庁ヤマグチです。何倍ぐらい入ってるっていうことですね、規制庁わかります。ヤマグチの、
1:09:17	言ったものはもうパック数のもので、以前だと、
1:09:23	Fとかついてたんですね、MOXがオダしたときに、MOXのタテエネルギー管理建屋ここ、
1:09:30	ちょっとついてたやつがなくなってる。
1:09:33	ですけど、そのことです。最初にハマダ
1:10:04	日本の高でございます。少し事実確認させてください。
1:10:53	右のインダでございます。あれですね燃料油供給設備、ボイラー用燃料、計装かな、今言われているのは、
1:11:05	ウチヤマ、
1:11:07	これですね。
1:11:09	これですね。
1:11:16	これは、
1:11:21	思って、
1:11:24	ちょっとうまくファクトすいません。
1:11:39	そうですね。うん。
1:11:40	確認に時間はかかるようでしたら
1:11:44	他の確認したいと思いますが、

1:11:48	はい、えっと、他の進めてくださいはい。
1:11:56	等、今は、
1:11:58	今
1:12:01	アベ表の 2-2 で、除外する屋外タンク等ということで、四つ、
1:12:08	この時点で除外されてると思うんですけども、
1:12:13	今回そもそも 1 水源として何を設定するかっていうところで、
1:12:19	その後ろに行けばその椅子、耐震クラスとかで、除外さらに除外してる ところもあるんですけど、この段階でこの四つを除外される家が、
1:12:29	わからなくてもその許可とかでも、許可の補足説明。
1:12:34	整理資料とかですけども、この余除いた四つも一応 1 制限としては挙げ た上で、評価っていうのにつなげてたと思うんですけども、
1:12:44	これらは、これ除外者さん。
1:12:47	理由っていうか、お伺いしていいですかね。
1:12:52	はい、日本原燃高谷でございます。
1:12:56	はい。
1:12:57	もうきつとあまり追加の説明がないんですけど、渡。
1:13:01	先ほどあった、衛藤。
1:13:03	この書いてある 4 番から二十一、二十 25 っていうところは、
1:13:08	①と②の説明にちょっとなってわしいしまいます。
1:13:14	それぞれ 4 番と 22 番、25 番については面を見ていただいたところで数 百メートルの距離がもう離れていて、この緑、
1:13:30	すいません。
1:13:32	箱崎です。
1:13:34	理由として、納得いかないっていうことでもないと思うんですけど。はい。 屋外の溢水の評価の仕方って言った時にすごい原燃は粗くやってるわ けですよ。
1:13:46	その時 2 どこでどの程度の話をするっていうことだと思うんですけど。
1:13:53	全体像がない中、ここだけ妙に話をされてもなっていう気がしててそもそ も、
1:13:59	これ何の論点で、
1:14:01	話をしているのか全体像のうちのどこの何なのかっていうことのような 気もするんですけど。
1:14:08	今回これイデキタノって何ですか。
1:14:11	これっていうのは表の 2-2 というよりは、
1:14:13	屋外の溢水研っていう話でっていうことなんですか。
1:14:17	はい。日本原燃の高井でございます。別紙 1-2 というその他溢水とい うか屋外の水源水量というところが、

1:14:26	ちよつときちんと説明が整理ができてなくてですね、本来はここ共通準備のところ資料3で、こここういうところに水源がありますというところで配置設計を示す。
1:14:37	必要があると考えています。それでこの配置設計ということを示すために、ここに屋外タンク等という手順等も含めて水源が、
1:14:47	こういうところにあると考えていますというところをお示ししようというふうに考えた次第でございます。
1:14:53	はい。
1:14:57	清町ヤマグチです。
1:14:59	昔
1:15:01	00 資料で確認してたときに、まず、屋外のそもそも溢水権っていうのは何設定してるのかが全く、
1:15:08	書かれてなくて申請書のそれで何かっていうのを聞いたときに、
1:15:15	何か耐震性もある、冷却塔とかも全部壊れ水出るとしてこう想定してますみたいな話もあって、そこから
1:15:26	何ですかね、耐震性持ってるのに、この溢水の評価になったら急に壊れてっていう設定してるので、もう何でもかんでも失礼じゃなくて、考えて、水源っていうのを設定してねっていう話もあったので、そもそも水源として何を設定するナカを整理します。
1:15:43	いう話と、あともう1点は21ページから局長評価っていうのを示されてると思うんですけども、これ全然今の申請書上で、局長評価っていうのは全く、
1:15:55	入ってなくて、実用炉の方ではこういうのもやっててその必要性っていうのをちょっと変更しますっていうことで、
1:16:02	トータルとして、このフナノイセについては、今回示してきたのかと考え方を示していったのかなと。
1:16:15	はい、日本原燃高でございます。すみませんありがとうございます。はい、おっしゃる通りで先ほどの屋外水源っていうところ耐震
1:16:24	クラスも含めてですね水源水量をどう設定するか、あとは(2)番というところを局所評価というところの必要性というところでこういうところを想定してますというところを
1:16:37	記載したというところでは、小西の通り、
1:16:46	コサクです。ごめんなさい。だとしたら、
1:16:49	先ほどの冷却塔の話をしれっとそのまま入ってるだけになって回答になってないじゃないですか。オオモトとしてどういうコンセプトで対応していきますっていうことから、説明しないと。
1:17:25	はい。日本原燃の高谷でございます。はい。衛藤。

1:17:31	はい。
1:17:32	おっしゃっていただいたところも含めて、その防護対象に対する、その耐震クラスがあるものが1水源となるとかというところの、
1:17:44	その考え方の整理、そのオオモトがない。
1:17:47	と。
1:17:48	ここの整理がどうなっていくかっていうところが、お示し、もう全体とか見えないというところだと考え、認識しましたので、
1:17:56	この辺も含めて記載ができていないところを、はい。ご説明を、
1:18:02	記載して、ご説明させていただきたいというふうに思います。
1:18:10	長ヤマグチです。
1:18:13	投資制限の設定をコウになる。
1:18:16	最初の段階この四つ除いてそのあと耐震性でっていうのがあってそもそも全体として制限として何を設定するのかっていうところの考え方。
1:18:27	示していただかないと特にこの四つ除かれてるんですけど除かれてるんでちょっと量まで書かれてないんですけども、
1:18:37	結構な量ある者たちがちょうど除かれてるのでちょっとそこを本当に除いて大丈夫なのかっていうところで、注釈で、①で、距離がいて主に、
1:18:49	設置してるのでっていうこともあるんですけども、そういうのも何か、
1:18:53	図、図の感覚的に言うと何か、
1:18:56	他に近い。
1:18:58	もっと遠いところもあるんじゃないかとかもあるのもうちちょっと定量的にっていうか
1:19:04	示していただかないと意図的に何か除いてるのかなとか思っちゃうのでまず考え方からちゃんと示していただきたいのでお願いします。
1:19:14	右のタカヤでございますはい、承知いたしました。
1:19:18	補足です。ちょっと、その際でもいいと思うんですけど、距離としてしよって、何かアンドウにしてる意味があるのかな、なんなんですかね。
1:19:49	近くだと軽症であっても、
1:19:51	何ですか、極端なスロッシングなんかを考えると出るかもしれないから、
1:19:56	近くの場合はて所でも入れましょう。
1:19:59	遠くであれば、スロッシングしたとしても、
1:20:03	外に流れるからいいでしょうってそういうことですか。
1:20:07	はい。減免タカヤでございます。今ここの回答としては、ELが低いという部分についてはその影響のあるところのあの高さまでにため得るようっていうところが、
1:20:22	一部あるというところを考慮しているというところと、それに加えて距離で、拡散の分散していくというところ、両方を加味して、

1:20:33	すいません、両方加味してるんだとしたら、先ほど山口が言ったようにそれよりもどういうところをプラスしてるのと、整合しないじゃないかと。
1:20:42	はい。いうことになるので、やはりトータルとしてどういう考えのもとにピックアップするのかっていうのをまとめていただく必要があるのかなと思います。
1:20:51	はい。人間の高井でございます。はい。そこを申し上げております。はい、承知しました。
1:20:59	院長山口。
1:21:07	とりあえず、広域評価のところは、
1:21:12	そもそも水源の考え方からちゃんと示してるってことなので、
1:21:17	20 ページまでで、もし成長がわかって答えれば、
1:21:24	なければ、元年度は確認中の事故ってまだ、
1:21:32	まだ、補足ですけど念のためですけど、16 ページに、何かエビデンスっぽいもので出てきている。
1:21:39	ですけど、
1:21:40	今回はとりあえず
1:21:43	水源抽出の考え方が議論できればよくて、最終的な溢水量の確定っていうのは、資料 3 を踏まえて最終的に資料 4 のところと違ってそういうことでもいいですか。
1:21:56	それとも、資料 3 なり 4 でどういうふうな情報を出せばいいかっていうところまでここで議論したいですか。そうですか。
1:22:04	日本原電の高井でございます。おっしゃる通りで保有量に関しては、資料 4 でお示しするものですんでここで本来は必要な、あくまでも抽出の対象の抽出というところが本日ご説明事項でございます。
1:22:18	古作です。わかりました。そこをまず整理をしていただいてそれでこのレベルでの話ができて、
1:22:26	具体的に整理を 3 種類呼んで何をつけるべきかっていうのは原燃で整理ができる状況だと今認識をしているということで理解をしました。
1:22:36	以上です。
1:22:41	規制庁岡です。今、ちょっとその資料 4 につけるっていう話の保有量なんですけど、まず前段につけてもらいたい、抽出結果のところ、4 により、
1:22:51	本資料 4 で出すときは、
1:22:53	前段でまずはこのこのぐらいに持ってますよをちゃんとつけて欲しいのと、あとこれマスキングになったのは何ででしょうか。
1:23:13	京銀の高井でございますまず、前段で保有量というところを示すということと案は承知いたしました。

1:23:21	ちょっとマスクングをしている理由につきましてはちょっと事実確認確認させていただきます。長大さん許可の時は、これマスクングなしで出していたんで、
1:23:31	今回マスクングしてきた理由はわからないのと、あと許可とか第1回までの話と、ちょっと数値が、
1:23:39	結構違っていたりですね、あと、
1:23:42	ちょっと目立ったのが、No.6の工業用水製造施設の火災防護設備ろ過水貯槽が、
1:23:50	ここは消火用水層が入っててそれが結構な量あるんですけど、それも今回含めずに来たり、
1:23:58	何か許可って聞いてた話と大分返ってきたところが目立ったなっていうのが印象だったんですが、その辺でどういうことになってますでしょうか。
1:24:12	はい、日本の高井でございます。最後におっしゃっていただいた屋外のところ、評価用水槽というところ、ここおく一内での設備というところこここの部会からは抜けているというところとかありますので、
1:24:26	そこも含めて全体はい対象がこれでっていうところで許可のときの辺も含めて、後を示し、整理してお示ししたいと思います。
1:24:37	はい。清町長。
1:24:41	この図の2-1は、このマスクング版っていうのは何を。
1:24:45	マスクングしたいものなんですか。
1:25:08	いやよ。
1:25:09	敷地の配置図をマスクング会長、松木が言ったよ。
1:25:13	イクノ。
1:25:15	廃棄ず、過去に1回マスクングが解除してんのみんな、
1:25:20	だからハイリズだけだったら好きにできない。
1:25:25	リサイクルのタンクも、
1:25:28	これによって、
1:25:29	海外設計でも何でもないのでこんなのタンクの容量ってどうやってますティングすんの。
1:25:35	逆にマスクングできるような理由を教えてくれよ。
1:25:44	11番とか12番だって戒告ない設計で、これ。
1:25:48	2国間協定に引っかからない。
1:25:51	ノウハウかこれ、水の予備、
1:25:54	能のノウハウか教えてくれよってメーカーに聞いてもいいぐらいで、
1:25:58	もう乱暴なマスクングは駄目だよ。
1:26:01	やり直しだよ。

1:26:04	誰がマスクングした責任者だって、
1:26:06	金君。
1:26:08	もう責任問題でこんな、こんないい加減な町人というのは、
1:26:12	全部資料出し直せ本
1:26:18	ちょっと日本イシハラでちょっとマスクング余りにも何だとなので乱獲っていか根拠となったそうなので、一度社内で確認します。はい、わかりました。
1:26:30	決め今回、
1:26:33	7番、近隣の産業施設の火災、
1:26:37	これ。
1:26:38	江藤も石油備蓄基地火災
1:26:49	結果的には変わんないんですけど、
1:26:51	別に出したり、
1:26:55	表現したり
1:26:58	3歳があると聞かなきゃいけない。
1:27:00	少し丁寧に、
1:27:05	はい、植野高でございます。承知いたしました。
1:27:08	コサクです。ちょっと一つ前の話に戻っちゃうんですけど、消火用の貯水槽の話で、屋内なのでって言われてたんですけど、
1:27:19	ちょっと気になったのは、屋内であっても、屋外にまで溢水するものであれば、
1:27:26	それわあ、屋外の溢水影響評価にも含めなきゃいけないと思うんですけどそういう目でちゃんと見て、
1:27:34	コガには出ませんっていうことですか。
1:27:51	はい、イノウエのタカヤでございます。
1:27:56	紹介を設置理想というところについては屋内の地下に貯層があつてですね、そこで屋外からで、屋内、屋外に出ないと。
1:28:06	いうところの整理を今、した上ではそこを抜いているということが現状でございます。
1:28:13	従前の2-2の頭の文章で抽出って言ってるアオキの話で、
1:28:20	なお書き委員長がいい。
1:28:26	良ん。
1:28:28	地殻地下タンクだったらここに入るんです。
1:28:31	これも先ほどと一緒に母集団の中なので、
1:28:40	変なスクリーニングをかけずに、一色ちゃんとやって除外するのはこういう、全体の設計思想のもと、

1:28:48	それにのっとして除外してから除外していく、カウントするっていうことは一色わかるようにしてください。
1:28:56	はい、新美高谷でございますはい、承知いたしました。
1:29:01	障害者で先ほどあったモップ数の第1回でした。
1:29:08	101 ですかね 2 回出た燃料油供給設備のボイラー用燃料費等も、
1:29:14	これ、近田からといってどうも抜いてるみたいなんですけど、さっきの母集団上げた上で抜くんであれば同じような手順を踏まないと駄目だということになると思いますんで全体整理させます。はい。
1:29:28	規制庁山内です。お願いします。
1:29:33	等が、
1:29:37	局所評価の方に続いて 21 ページからの国なんですけども、
1:29:42	これは先ほどお伝えしたように論点となっていたのはそもそも極小評価が必要かどうかの要否からまずは検討っていうことだったと思うんですけども、
1:29:51	広域評価だけじゃ不十分かなんかで局所評価をするっていう方針なんだと思うんでそのあたりはどうせどういう整理状況か、ちょっと説明お願いします。
1:30:13	はい。植野高井でございます。こちらの方、職種評価については発電炉と同様というところになります。全体の広域評価というところに加えて統一、一部その
1:30:25	総合評価を超える局所的にですね、一時的に高さっていうところが、
1:30:35	水位が上がるといったところについては、局所的に対象設備に対する影響というところを評価するところを考慮しております。
1:30:45	それが今ここに書いてある通りNo.6No.7 というところを対象に評価をしようというところを考慮しているところを記載させていただいています。なので局所評価としては、
1:30:57	今のところはやるというところで、整理かなというところで今、考えております。
1:31:05	規制庁山口です。今一時的にイシイが上がるっておっしゃってその広域評価で評価した水よりも上がる、一時的に上がる。
1:31:16	ということなのかと思うんですけども、その実用炉と一緒にっていうことで、
1:31:22	実用炉だと溢水が建屋に到達した際の、カミヤの溢水の跳ね返り等による短期的な他、深さが広域評価。
1:31:35	深さをを超える恐れがあるから、3次元流体解析によって、建屋への局所的な影響を評価しますっていうことで、そういうのを、

1:31:45	トウニの例だとやられてたんですけどちょっと今回その原因、そもそも極小評価って言葉使って何かどういう評価をするのかが、
1:31:54	評価条件と書かれてないからわからないんですけど、そういう実用みたいに、3次元流体解析とかそういうところまでやるっていうそういう、
1:32:04	今状況なんでしょうか。
1:32:12	はい。日本原燃の高屋でございます。
1:32:16	現時点でそこまで同じように、流体解析というところの形でやろうと考えております。
1:32:24	ただしこの対象も含めてですね、どう、対象がどういう計算をやるかっていうところは、全体像が見えずに今ここでしゃべるのもちょっと、
1:32:37	おこがましいというかなのでフコクも含めて
1:32:41	評価方法は整理をさせていただきたいというふうに考えております。
1:32:47	はい。
1:32:49	やるっていうことで、
1:32:54	はい。
1:32:57	それとしてはその広域評価よりも高くなってしまふ恐れがあるからやるっていうこと。
1:33:05	何。
1:33:13	ちょっと考え方が、
1:33:16	十分に示されてない中であれなんですけども、今回
1:33:21	溢水局所評価の1水源として、
1:33:27	ナンバー6と7の医師、いや、事業を抽出されてると思うんですけども、これも今文章だと、何か図投票をもとにした検討した結果、この二つですっていうことで、
1:33:42	何でっていうところがちょっと書かれてないので、
1:33:50	この、
1:33:52	そもそもその評価対象の範囲とか、対象としてる。
1:33:56	いや、
1:33:58	壊れてないんですか。
1:34:03	はい、宮村タカギでございます。これ全体、最初の11ページ目からずっと作ったらしいですが、その全体でどのようにボスの集団があって、
1:34:15	それをどう抽出していくかっていうところの、考えとかは記載できていませんし、最終的にこの6番7番が局所評価が必要なのかどうかっていうところも考え方を示せてないというところになります。
1:34:30	ので、はい。そこはきちんと示せるようにさせていただきたいと思います。
1:34:37	お願いしますその際、

1:34:41	この脚注ロッカー。
1:34:43	何やるのかとかもちよっと全然わからない状態なので、
1:34:48	考え方から示していただかないとちよっとプロットいい。
1:34:53	できる感じじゃないのでお願いします。
1:35:04	カー別紙 1-2 まで規制庁側からありますでしょうか。
1:35:11	規制庁の荒井ですけど。
1:35:13	14 ページ目でちよっと先ほどの屋外タンクの話に戻ってしまうんですけど、
1:35:19	明確な答えが返ってこなかったんで、やっぱり聞きたいんですけど。
1:35:24	表の 2-2 で除外したい理由が多分あったんじゃないのかなと思うんですけど、その
1:35:32	もともとの、
1:35:35	何か意図みたいなのとあって、説明お願いできたりしますか。
1:35:40	要するに私許可のときに、
1:35:43	例えば
1:35:44	どんだけ水がこんだけタンクが点在していようが 12 ページの式gに広がったとしても、数センチぐらいしか、
1:35:55	高さが出てこないんで、
1:35:57	幾ら冷却塔とか壊したとしても、
1:36:01	大丈夫なんですっていう。
1:36:03	ことを、説明受けていたので、
1:36:06	すべからくすべての水源は、屋外のタンクは、壊すっていう方針でいたような気がしたんですけど。
1:36:16	あと、あからさまに何か容量の大きいやつだけ、
1:36:19	取り除いてるっていうのは何かしらの意図があるのではなからうかっていうふうに思っていて、そこら辺をちよっと正直に話してもらわないと。
1:36:26	高谷さんの理解にも繋がらないんじゃないのかなと思っているので、
1:36:34	説明をお願いします。
1:36:42	右上でシノでございますまず
1:36:45	このもともとのこの話のスタートとの関係で、
1:36:50	担当考え方を書かないからこんなことになってるんだろうなと思いつつも、
1:36:58	おっしゃっていただいたように敷地にあるものを物負けて、敷地全体に広がったら結局 10 センチぐらいですかね、ぐらいしか高さ上がりませんよっていうのは変わりません。
1:37:08	のその考え方は変わらないんですけど、だとはいえ、
1:37:15	一方ですすね、

1:37:17	ここが入ってるような、安全冷却先見の冷却塔みたいなものは、実際に国外で一世が発生したときに守りますと言ってる人。
1:37:28	SI、どういう考え方で壊れるかって言ったら耐震性がないから超えますみたいなのがおっただとすると、
1:37:37	考え方が結局設計方針同士を結びたときに、合わない、考え方が統一されてないということにも繋がってしまうんじゃないかと、いうことでちゃんと 1000 円を 1000 円となり得るものはちゃんと全部上げた上で、
1:37:51	とはいえ、こういう考え方で一斉の影響はないよねっていうものは、除外をして整理をしていくという流れで、
1:38:01	やっていくのが必要なんじゃないのかなという議論でということを考えてこういった整理をさせていただいてます。多いものを意図的に抜いてる時は本来の溢水としての環境影響評価をするっていう観点で、どうあるべきかと。
1:38:16	いうところの整理をしたということで、
1:38:20	はい。
1:38:23	結果としてこういう願望で整理できればいいのかなっていうのが、多分結果として現れているだけなのかなとは思っているんですけども全体的にテーブルに上げてまた整理し直すって話なので、
1:38:37	全然屋外の冷却とか壊さなくてもいいと思ってるので、
1:38:40	そこは理由をつけて除外とかっていうことをしっかり一つずつやっていければいいのかなとは思っています。
1:38:51	以上です。はいどうぞ。
1:38:55	先生、ミヤウチですね 7-2 まで。
1:38:59	21 ページまででなく、例えば、同 1 別紙 1-3 で、
1:39:04	こうやってプールのスロッシング、
1:39:08	評価の考え方っていうところで、
1:39:19	コウは、
1:39:20	まずその元のオオモトの方針としてはなるべくその被水版とか、
1:39:27	ニッタとかウタとかつけれるところにつけてなるべく溢水量、それ押しムニュより水を低減しますって、でも
1:39:36	県、SGの危機だとか何か理由があってつけれない範囲は、ちょっと
1:39:42	つけないっていうところがあるんだと思うんですけども何か今回そういうまず、
1:39:47	紙製番と蓋の設置位置の設置箇所考え方とかが全く示されていないんですけども、25 ページにつける範囲っていうのは示されてるんですけども、
1:39:59	そういうところを入れていただきたいんですけどもいかがでしょうか。

1:40:07	はい。日本原燃高谷でございます。はい。おっしゃっていただいている通りで(1)でできる、可能な限り低減させるっていうところで
1:40:18	設計としますというところ、そこで止水版雨水だと水分かっていうのは、
1:40:26	特にスギタですね、は設置できるところについて設置しますと。
1:40:30	ここから何も書けてないところなんですけど、おっしゃっていただいた通り、SGとかの観点、保守点検とかの観点と、どうせどちらにしろ一時的に取り外さないといけないようなところについては、そこはどうするかっていう
1:40:45	どちらにしろ評価には入れずに、そこは止水。
1:40:48	というところを考慮して、今の配置っていうところを決めていきますという設計になります。その配置をきちんと資料3とかというところで示した上で、そのシンボ評価につなげるということをしなければならないとはい。はい。
1:41:05	山口です。お願いします。もともと、
1:41:09	として挙げられ、あげてると思うんですけど、
1:41:11	オオモトとしては、
1:41:15	一時的に取り外すような負担も常にあるものとして評価で期待して入れちゃっていて、
1:41:23	それを結局、説明後今回の一時的に取り外すウタっていうのはもう期待せずに評価上は入れないっていうことだ。
1:41:32	説明があったと思うのでそういう考え方っていうのはちゃんと示していただきたいのでよろしくお願いします。いえ。はい、宮坂です。承知いたしました。すいませんコサクです。今の点で確認なんですけど、
1:41:46	評価に見込む見込まないはそれは設定でいいとでもよくて資料4でお話しいただければいいんですけど。
1:41:55	見込むが見込むまいが、評価です、見込まなくても、設置する最低アノンなるべく抑制するという方針で設置するということ言えば、
1:42:09	DBの設計としての申請対象。
1:42:12	である。登録するという古藤でいいですか。
1:42:24	はい。
1:42:25	日本原燃の高井でございます。
1:42:29	今日、
1:42:34	現時点の思想として
1:42:36	可能な限りつけられるとかつけるというところについてはですねあくまでも保守性とか、そのSGを考慮して、もう外さないといけないっていうところは、今、

1:42:49	松井については設置はしていないというところで、それ以外でもうつけるところについてはそれから、すべてごめんなさい。そこがまたよくわからなくて、さっきは一時的に外すものは、
1:43:02	見込まないと言って、今言ってるのは、そもそもつけませんと言って、
1:43:09	所らに言うときによって表現が変わるので、それは場所が違うのかもしれないけど、
1:43:14	全体としてどういう思想なんだっていうのをちゃんと述べていただいて、園部たものに対象になるものは、申請対象だということだと思うんで整理をしてください。
1:43:28	はい、米野高でございます。承知いたしました。
1:43:34	長ヤマグチです。
1:43:38	します。
1:43:40	藤。
1:43:42	さん。
1:43:44	22 ページの、ちょっと 3.2 で、
1:43:48	機能維持に必要な水の整理っていうところちょっとここに。
1:43:52	文章の書き方なのかもしれないちょっと確認したいんですけども、あと 3.2 の文章で、えっと読むと、スロッシングによる溢水によるより水位が低下するが、補給水設備の運転とか、
1:44:06	その給水並びに、
1:44:09	冷却系の運転により冷却機能及び遮へい機能を維持する設計としているっていうことで、今 12 月に申請があった申請書だと。
1:44:20	スロッシングによって水位が低下しても、そもそもその冷却塔遮へい機能に必要な水位以上の水位が確保されてる。
1:44:30	から大丈夫ですっていうそういう評価結果が示されてるんですけども、
1:44:35	この文章を読むと、実際、今回の再評価なり、やっぱり一時的スロッシングによる、
1:44:44	溢水によって一時的にそのそういう必要な水位より低くなってしまいうけども給水とかを用いて、トータルとしてその遮へい、冷却機能を維持しますよっていうそういう説明に今後なるっていうす。
1:44:59	ことなんでしょうか。
1:45:31	すいませんコサクです。言葉が踊っているんだと思うんですよね。
1:45:35	28 ページの 3-3 表を見れば、必要な水位っていうのと、復旧後の水位っていうのはまた別の話であって、
1:45:46	先ほど文章必要な水の話をしているようで、最終的な評価値の話をしていたり、

1:45:52	何なんだろうって感じがするんですよ。で、必要な水って言えば、冷却の話と遮へいの話だということで、おのずとその評価で決まってくると思うんですよ、補給がどうこうなんて関係ない。
1:46:08	と思うので、文章まずその点でちゃんと、どっちの話してるのか整理していただけますか。だと思ってるんですけど、何か論点が違います。
1:46:17	イノウエの高でございます。はい、おっしゃる通りです。
1:46:24	水道してやっみなヒラガは、冷却水としての必要な水位というところと、社員に対する必要な推定というところの2点というところでございます。はい。
1:46:34	そこが補給後の推移がどうか、そういうところをはい、記載しているというところで
1:46:41	ぶれているということでは、そこは適正化をさせて、
1:46:50	はい、コサクですまず必要な整備っていうその許容限界的な話はそれで整理をしていただいて、その上で評価値の方をどういうふうに評価していくのかどういふの見積もっていくのかというのはそれはそれでまとめてください。
1:47:06	はい。井上ムタ風間庄司局長。
1:47:11	院長山口です。
1:47:14	お願いします。
1:47:16	そのあとも何か誤記がどっかで直しますとかあるんですけど、これちょっとよくわからない。
1:47:23	ないので、今の話で、許容限界と評価値ということでちょっと整理いただければと。
1:47:30	思います。
1:47:39	続いてなんですけども3.32個買ってSAの花Cも入ってくるんですけども、
1:47:47	今回この文章を読んで原燃としてもその食器水を通常水な-0.8メートル以内とするっていうことを
1:47:59	河合委員。
1:48:00	これをするために今回設工認で蓋等いたっていうのを考慮して詳細設計を示しますっていうことの方針が示されてるんですけども、
1:48:10	ちょっと許可整合との関係で何か確認をしておきたいんですけども。
1:48:15	許可本文で、
1:48:22	をする。
1:48:23	寝具による溢水を抑制する蓋の効果を考慮しないとした場合水は通常0-通常のマイナス0.8メートルですっていうふうにも、

1:48:34	書かれてたんですけども、そこの関係ってどう整理されてますでしょうか。
1:48:52	日本原燃フジベです。今後に関しては蓋に関してはですね、このSAにおいては評価に加えない形で評価、許可との整合と
1:49:05	または評価に入れずに評価を進めたいと。
1:49:08	以上です。
1:49:10	規制庁ヤマグチですよ。
1:49:12	蓄えず評価に加えずに、それでも通常水のマイナス 0.8 以内っていうことは示す方針っていうことなんですな。
1:49:21	わかりました。
1:49:26	ちょっと、DBの方は許可本文っていうよりも整理資料とかで、
1:49:31	ふた考慮せずに評価してた。
1:49:35	あれ。
1:49:37	して、日本原電の藤井です。今のSAの話でですね、デービーに関しては負担は考慮するというので考え、
1:49:47	デービーについては、整理資料の方でも負担は考慮するというところの方針を示しておりまして、その許可時からその方針に関しては、変更はないと考えて、
1:49:59	ただ、許可の時は、その蓋を取り外す可能性があるというところで、それで保守的にともう、ウタを考慮しないということにしていたんですけども、現時点では、もう今蓋をつけているところ、こちらについては取り外しはないと。
1:50:16	いうところにしかつけませんので、デービーの解析においてはふたは入れた形で評価をするというので考えて、
1:50:23	以上で
1:50:25	成長ヤマグチ様、今
1:50:27	いただいたように許可の時は蓋が設置できない範囲っていうそういう設置とかに不確かさがあったから、保守的に考慮せずっていうことで今回設工認で、
1:50:37	スケア範囲っていうのが明確になったのでここ精緻に評価するっていうことで今、今の説明いただいた考え方っていうのをちょっと説明。
1:50:48	入れて、文章でいただければいいと思うのでよろしくお願いします。
1:50:54	補足です。
1:50:56	この資料もそうですけど、許可整合等の資料でもそういったことを書いてもらわないということだと思ってるのでよろしくお願いします。で、ここで言うと、23 ページ、

1:51:09	上から 10 行目ぐらいのあたりで設工認ではってなっているところが、今の説明と合っていないような、
1:51:17	記載になっているので、
1:51:20	これは直される。
1:51:22	んですかね。
1:51:24	日本原燃高でございます。はい、おっしゃる通り製造して、1 次側は行ってください。はい。そこは修正いたします。
1:51:39	山口です。
1:51:41	お願いします。
1:51:47	その溢水の方は、そのポテンシャル理論と 30 または 3 次元流動解析手法を適用し、スロッシングによる溢水量を算出するってことで、
1:51:58	今回、どっちで評価しようとしてるかとかって、見通し、もしあれば、
1:52:07	まあ、でも最後の結論でなあっていうことで 3 次元の方使いますっていうことあるというので、ちょっと何でそっちっていうのはわかんない。
1:52:18	けども、
1:52:22	考え方とか、御説明いかがでしょうか。
1:52:31	すいません。
1:52:32	先ほどのその設工認では以降は、先ほどの説明と全く合っていないことが含まれているので、
1:52:39	何でこんなことを書いて来て説明ではなくというんだっていう、そのそもそもから説明していただけません。
1:53:05	すいません
1:53:07	再人間のフジベです。
1:53:10	ウタが入っている。
1:53:12	考慮するという形に変え、
1:53:15	からというところを、
1:53:18	えっと、
1:53:19	すいません私の目が、
1:53:21	的ではなかったんだと思うんですけれども、
1:53:27	まずちょっと、ごめんなさい、理解が。
1:53:29	自分では、
1:53:31	ミウラのタカヤでございますので、ここは
1:53:37	記載したし、
1:53:39	ものっていうところがSEの方だったということが技術関係なんですけど。
1:53:45	はい。そこで止水板と止水部とどこまでの設計で考慮するかというところを、

1:53:51	あまりそこは意識せずに記載してしまったというところだということでございます。あと、先ほど、工認では、3次元流動解析で、
1:54:03	使うというところにつきましては、記載してる文章の設備設計ではというところについて、設備設計においてはましょ。詳細なケース解析を行うというところを踏まえ、
1:54:16	踏まえてその
1:54:18	Fインターの詳細設計が妥当であるということ判断するためにも、感度解析を使おうというところが今、
1:54:26	規制しているイトウでございます。
1:54:30	はい、以上でございます。
1:54:33	古作です。
1:54:36	そもそもその許可本文の、
1:54:39	8号の部分なんですかね。
1:54:42	記載をしていることとの整合どうするのかを考えていきなさいというのが、
1:54:49	ここの論点だったはずで、そこがちゃんと示されないっていうのは甚だ疑問です。なので、オオモトでこの別紙の位置付けみたいなこと話しましたけど、
1:55:00	これまでのヒアリングでのコメント対応という部分も多分にあるようなので、そういったところをしっかりと押さえないと、説明として来てない。最終的にクローズできないっていうことで、何かごまかせ説明して説明しましたって言うてるようにですか。
1:55:15	聞こえなくなっちゃうのでちゃんと襟を正して対応いただきたいと。
1:55:19	いうことがまず一つ。その上でここの設工認ではといったところからだと、1、2、3、
1:55:29	4段落ありますけど、
1:55:35	二つ目の段落で妥当性の判断項目って言っているのはまずスロッシング量と、
1:55:41	溢水量ということに関してはどちらかという
1:55:45	書いているんですけど、設備設計ではということ
1:55:51	いたアフターの構造設計としての、どういうふうに強度評価をするかというインプットとしての荷重を出すための、解析というものはもう3次元でやりますっていうことを言われていると思えばいいですか。
1:56:15	日本原燃の小森です。
1:56:19	許可の整理資料においてスターの共同を確認するために3次元流動解析というところを今、記載しているというところを、
1:56:32	おっしゃられたと考えてますけども、

1:56:36	水量についても、3次元流動解析というところ、これはあくまでも
1:56:45	詳細設計を進めていく上で3次元流動解析を用いるってところまでに至るってところで、記載しているイトウになります。
1:56:58	あそうだとするとあごめんなさいコサクですけど、妥当性の判断項目としてはって書いてあるところに、何で速度ポテンシャル書いてんだっていうのがよくわかんないですけどタカハシさん、どうぞ。
1:57:11	はい。三浦高でございます。はい。ちょっと先ほどのところに襟を正すっていうところもここ許可整合というところが運転等に、
1:57:21	そのところがずれてるというところ。あと、
1:57:26	ここの今のおっしゃっていただいた設計の妥当性の判断項目には、そのポテンシャル論と3次元流動解析しようというところを適用するとされている許可整合では許可ではもうそこで固定してる議論を、
1:57:40	についてやってみて設工認での3次元流動解析でスロッシング評価をするというところが
1:57:47	考えとして、記載しているものです。そこら辺を曖昧にして中途半端に書いてしまっているというところが現状だと思いますので、ここは許可整合というところ、あと施工んでは
1:58:00	どうやってやっていくか、それがなぜ正しいかっていうところはきちんと整理しないとイケないかなというところで認識しておりました。今後、公園の記載の内容も含めて、
1:58:11	失礼いたします。はい。適正化していただいて、
1:58:23	はい。
1:58:24	規制庁山崎です。
1:58:29	この3人までで、イセちゃわかば
1:58:34	よろしいでしょうか。
1:58:37	それとは、参考までに聞きたいんですが、23ページ目のなお書きの最後の、先ほどもちょっと触れた、
1:58:44	プロセス評価の結果2月ミドルっていうのはこれはSAの結果だけであって、DBの結果はもっと早く出るとか、最低でもグループIIの、
1:58:53	共通12のところでもう初めから出てくるとか、何かめどとか違いってあります。
1:59:12	はい、宮尾委員の高屋でございます。とおっしゃっていただいている通りSAの結果というところにも黄色でDBの方はもう少し早く出しているというところなので、
1:59:24	そこを明確にした上では
1:59:27	92の資料提出と合わせて、はい。お示しができるように、
1:59:33	したいと思います。以上です。

1:59:37	17 ページ目に解析条件の比較。
1:59:43	それもDBも、
1:59:45	統一的に表記され、モデル化範囲がちょっと違う
1:59:51	小遣いコードとか、
1:59:54	評価方法とかは同じものを使ってるんです。
2:00:02	はい、イノウエの高井でございます解析コードは同じです。ただしモデル化範囲というところは先ほどの説明であった通りDBとSAというところで異なってきますので、
2:00:12	そこを含めてBaby今記載してるのは、DBの全体の比較というところなんで、そのSAの差異というところがあればそこはきちんと明確にしたいと思います。
2:00:24	はい、江藤ですよろしくお願いします。
2:00:27	アンドウvision
2:00:31	セガワのうちですね別紙 1-4 で、漏えい検知器、
2:00:37	イトウ、漏えいの検知隔離の方針っていうところで、
2:00:42	小令和後と論点になっていたのが、
2:00:49	漏えい検知確認を、その溢水量の算定するにあたって、この時間っていうのがその影響してくると思うんですけども、そこを期待してるのに設計項目として募集する。
2:01:00	漏れてたっていう話と、
2:01:03	あと
2:01:05	DBに置いて、人はそのアクセス、
2:01:09	するのを直接、
2:01:11	現場操作なりアクセスを期待するようなアクセス通路部はないって言うてて本当はないのかっていうところをちょっと確認しますっていうこと等があったと思うんですけどもその冒頭で説明あったように、
2:01:24	漏えいの検知かクリーンに期待してるからもうそれに必要な設備っていうのは
2:01:30	今回のちゃんと説明対象としていれますっていうことで、
2:01:38	これ整理されて、
2:01:40	はい。
2:01:41	理解しやすかったんですけども、
2:01:43	衛藤。
2:01:46	29 ページの、
2:01:49	4.2、漏えいの検知っていうことで、その方法として①②③④で、次のページに⑤が挙げられてるんですけども、①から④は隔離でやるものですよっていうことで、はい。

2:02:04	遠隔でやるものですっていうことで、⑤は
2:02:08	人が直接、巡視点検だとかで、漏えいの発見しますっていう、
2:02:14	この5番はその人のアクセスなりが必要になると思うんですけども、結局その効果溢水量の設定にあたって、
2:02:24	この5番だけのその人手の発見のみを期待して、隔離時間とかを設定してる動衛研とかそういう場合はあるんですからそれ次第で、
2:02:35	アクセスルームっていうのも
2:02:37	対象となってくる。
2:02:39	だと思うんですけども、
2:02:43	5万円だけを期待してる場合ってあるんでしょうか。
2:02:58	1から4とかのコラボなしでも5のみで、
2:03:02	期待してるっていうことなんですけど。
2:03:07	はい、日本のタカヤでございます。すいません。
2:03:13	少し、
2:03:15	今、一部一部ですが整理できてない部分があって基本的には1から4というところで全体を検知しようと考えています。
2:03:25	その中でまだ整理がついていない部分で、
2:03:31	基本的には5番の現場重視だけっていうところは、ちょっと成立しないのかなとは思ってますがそういうところも含めて、一部成立中のところがあります。
2:03:42	それ以外は①番から④番で決定をしようというふうに考えています。
2:03:46	それで、中途半端な回答で申しわけないけどね。
2:03:50	成長ヤマグチです。そこはまだ成立っていうことでわかりました
2:03:56	期待するのであればそれに必要なその通路なり設備なりは
2:04:02	ちゃんと溢水の影響を受けても大丈夫っていうことにする対象にはなると思うので、ちょっとそのまず対象をはっきりするために、また整理、
2:04:12	お願いしますそれはあれですかね4.3の隔離、
2:04:16	の方も、こっちも
2:04:18	同じというか、この隔離の方法は遠隔操作または現場での手動操作により、弁を閉止することで行うっていうので、またはこの現場での手動操作のみに、
2:04:31	期待してるものがあるのかっていうところもあわせて確認中ってことで、
2:04:36	あれ。
2:04:38	すいません、補足です。
2:04:40	この資料見ても本当に下になるんですけど、
2:04:44	原燃を設計してないんですかってしてないんですけど。

2:04:49	我々が設計を説明してくれ、現状を説明してくれなんて言ってないんですよ。
2:04:57	こういう場合はこうしますってこういう場合をどこでそういうふうに設定してるんだって聞いてるんであって、
2:05:03	全然説明のポイントがずれてます。
2:05:08	こんなコメントをこの段階でも言いたくない。
2:05:11	ですよ。何のためのSteeringチームでできたんですか。
2:05:18	はい。大江タカヤでございます。はい。
2:05:22	おっしゃっていただいている通りでは我々この設工認、はい。その件、設計をお示しするっていうところで共通事務事務をしている中で、
2:05:33	確認方法みたいなのところの質問資料としてまとめてしまうってところ。はい。それをきちんとSteeringができてないというところ、はい。申しわけなく思ってます。そこは設計っていうところで、観点で、
2:05:48	どのようなものを示すかっていうところをきちんと。はい。定義して私の方で全部チェックをした上で、今後資料の提出をさせていただこうというふうに考えております。
2:05:59	以上でございます。
2:06:01	はい。補足です。後から言いますけど、今の隔離で言えば、どういう条件のものは、遠隔操作にしますというものは手動操作でいいです。
2:06:11	なぜならばこうこうだからと。
2:06:14	いうことを踏まえて、遠隔にする、せ設計したものと、首藤にしているものというのがあるはずで、
2:06:23	ギブンじゃないので、
2:06:24	しっかりと設計思想としてまとめていただきたいと。
2:06:29	ということです。同じように、検知の方法、もうそれに応じてですけど遠隔でやるものは、当然
2:06:36	検知をし、して作動信号を出さなきゃいけないから、
2:06:41	①、
2:06:44	とかになるわけですよ。
2:06:46	そうでないものも比較的停止操作とかを期待しなきゃいけないようなものであれば、
2:06:54	どういう薄検知の方法かとかっていう話があつと。
2:06:58	ということだし、
2:07:00	そこら辺の思想が根本的に抜けてただ列記すりゃいいっていう。
2:07:05	大間違いなやり方になっているということです。
2:07:09	それが要らないものが⑤になるのか或いはアンドウってことなのかという古藤になってて、

2:07:17	とつくに、えっと、
2:07:22	床ドレーンとか
2:07:30	移送先のところで測るようなものは、実際の漏えい箇所がどこなのかっていうのを、県へ見に行かなきゃいけないところは⑤が必要になってくるわけですね。
2:07:42	そういった関係性もうなきゃいけなくて、
2:07:46	0一井プラス何、ナンバー何番ってなるはずなんですよ。
2:07:50	④も女Gですけど、これ温度を測るところは、
2:07:58	蒸気しかないところっていうふうになってますけど、
2:08:02	城希衣。
2:08:04	プラス、水とかっていうところ。
2:08:09	本当に、じゃあ温度はかんないのかみたいなところとかも、全くもってよくわからないんですけど。
2:08:17	そこも本当ですかっていうのが、
2:08:21	気になるんですがどう、どうなって、そこら辺チェックしました。
2:08:39	コサクです即答がないということはチェックしてないっていうことだと思うので、設計思想から含めて確認をした上でしっかりと書いていただいて、どういう確認をしたかも含めて説明いただければと思います。
2:08:52	はい、植野高井でございます。はい。質問、確認というところ。はい。はい。
2:08:59	はい、どうぞ。はい。
2:09:04	規制庁、濱口です。
2:09:06	33 ページまでで他は規制庁側から、
2:09:12	あれば、
2:09:15	大分てしまった。コサクです。ちょっと先でもいいんですけど、制御盤カラー移送ポンプの状況というので、ちょっと
2:09:27	これ、
2:09:29	藤さん 12 ページの下の図ですね。
2:09:33	これって
2:09:35	移送ポンプから制御盤のほうに矢印が向いてますけど、
2:09:39	監視制御盤にデータが送られていくので、
2:09:45	移送ポンプからのアウトプットとしての、何の情報がいくんですか。
2:09:53	よ。
2:09:55	辨野高谷でございます。そちら 4.2 の漏えい検知のところ③番で、移送ポンプの起動頻度っていうところが、その起動信号だったら制御盤から行くんであって移送ポンプから入ってこない
2:10:12	起動したというアウトプットを表現ナカイでございます。

2:10:17	移送ポンプが起動しましたよっていう信号を制御盤に向かって起こるってことですか。
2:10:25	見る場合、
2:10:28	おっしゃっていただいている通りです配送ポンプから制御盤に信号が送られるわけではなくて制御盤から、はい。監視制御盤の方に信号が行くというところでそういう制御盤での
2:10:43	頻度の確認ということになります。はい。
2:10:45	なのでこの赤の矢印っていうところは、何を指してるかっていうところは、はい。ちょっと、
2:10:52	不明になりますので適正化します。
2:10:54	はい。もうちょっと実態をちゃんと認識した上で、間違いのないように記載をしていただきたいと思います。そうすると、起動信号が出てますよ。
2:11:06	ていてアノて信号出ますよということで 01 のような形の記録になってるんだと思うんですけど、実際に起動してるのかどうなのかとかっていうのはまたその水位の変動だとかっていうのを見に行くということになるんだと思うので、
2:11:21	そういったところも誤解のないように実態をしっかりと表してください。以上です。
2:11:26	はい。イノウエのタカヤでございます承知いたしました。
2:11:32	院長はヤマグチです。当庫は 33 ページまでで、
2:11:38	あ、
2:11:39	普通の方に入りたいと思います。
2:11:44	添付 1 の溢水の設計項目の整理なんですけども
2:11:48	大分整理されて冒頭、高谷さんから説明があったように、今回もともと、
2:11:56	別、異なる設計説明分類でも同じ枠で、
2:12:01	広く書いてたところを、結局、特に屋内屋外の機器配管とかは、
2:12:08	飛ばし差機能評価っていうと、どっかのところだと、別の項目になったりするんでそこをなんか同じ枠にしてたところを書き分けられたりしても、
2:12:20	結構明確それによってわかりやすくなったなっていう印象はありますので、
2:12:25	特にそのおっきな点での、
2:12:28	本当はそんなにないのですが、
2:12:33	だけ気になるところで、
2:12:39	なぜ、
2:12:42	41 ページ。
2:12:46	ですね。
2:12:49	41 ページの、

2:12:51	屋外機器配管の
2:12:54	欄なんですけども、
2:12:57	ここのその屋外配管のところの評価の項目で、1 水源とする機器に対して角井範囲内の系統の保有水量合算して、溢水量を評価するっていうことで、
2:13:11	屋外の 1 水源とする機器に対しても、隔離を期待する。
2:13:17	機器があるのか、っていうのをちょっと確認したくて。というのも、
2:13:24	タオカユキ配管の方のシステム設計では、地震を検知し、緊急遮断弁とかによって確認するシステム設計を、基本設計方針ナンバー42 の溢水対策設備に展開するっていう。
2:13:38	ところがある中で屋外の方は、そういうシステム設計でそれを、
2:13:45	上げてないのに評価で確認範囲内のっていうところが急に入ってくるので、
2:13:51	ちょっと屋外の、
2:13:53	隔離っていうところ国外に水源の隔離っていうところのちょっと確認したいんですけどいかがでしょうか。
2:14:03	日本原燃田仲です。すいません。ここ、私が書いたんですけどもす。すいません隔離範囲内。
2:14:11	という表現が、正直町間違ってますってええと、
2:14:18	ここは溢水量全燃料基本入れることになりますので、
2:14:23	はい。この表現ちょっと見直させていただきたいと思う。
2:14:26	以上です。
2:14:29	見えますか。
2:14:31	うん。屋外機器配管で、
2:14:35	水源とする機器に対し、屋外の一次元とする緊対者特に確認とかはないっていうことでだからシステム設計でもそういうのは上がってないっていうことでちょっと記載を見直されるっていうことで 1 回、
2:14:46	しました。
2:14:49	今日は、
2:14:51	43 ページで、
2:14:55	その他の溢水なんですけども、このその他の溢水としてコウ、
2:15:00	いろいろあるところ前はグチャッと書かれてたのをちゃんとそれぞれ、
2:15:04	具体的何を示すのかをちゃんと明確に書き分けることっていうことで対応されてたと、対応されたんだと思うんですけども、ちょっとまだ不十分だって思うところでイメージを確認しておきたくて、
2:15:19	例えばなんですけども屋外機器配管のが、
2:15:23	ところの配置設計の 123、三つ目のポツですね。

2:15:28	機器ドレン機器損傷、人的過誤及び誤作動による溢水に対して、位置関係に関する設計を示しますということで、
2:15:37	特にその人的過誤及び誤作動による一斉に対しての位置関係っていうのは、何かどういうものをし、
2:15:46	どういうのを示すイメージなのかとあって、
2:15:49	いかがでしょうか。
2:16:01	溢水量。
2:16:16	エミのタカヤでございます。こちらにつきましてはそのままになります。が屋外にある機器に対して機器の損傷とかが、
2:16:28	発生、もしくはですね御多忙によって、そこから水井元となって今一世。
2:16:35	てると。
2:16:36	で、その可能性のあるところの配置というところでアノセ。
2:16:41	示さないといけないというふうに考えておりますが、
2:16:44	実際どのように示すのかっていうところがきちんと整理できてないというコメントおっしゃる通りかなと思っておりますので、そこはもう少し整理をさせていただきたいと思えます。
2:16:56	規制庁ヤマグチ一条がヒアリングをしたと思うんですけどもこの後佐田とかの話って、そのイノウエの申請書の添付とかになるんですけども、何かそもそもこういうのは起こらないように運用で、
2:17:12	そういうルールを、
2:17:13	何か守ることで、
2:17:15	頑張りますみたいなどころだったと思うんですけどその、
2:17:18	人の誤作動によって、
2:17:21	どこで、
2:17:23	イシイが起り得るかっていうところを抽出して、それと建屋との位置関係も示されるっていうそういうことなんですか。今野。
2:17:37	はい。日本原燃の高井でございます。先ほどの別紙のところの議論にも、
2:17:43	繋がることかなと思えますが水源としてどのようなところに何があるかっていうところの配置と設計と、あとはこれを考慮し、
2:17:54	考慮するの評価として考慮するのか、他の金融、
2:18:01	方がされるのかというところの評価っていうところは、資料4で示すのかっていう、そこら辺も含めてお示しをし、させていただければなというふうに思っております。
2:18:13	あくまでもここは配置設計として何を示すかっていうところは、溢水元を示すという形になりますので、じゃあ何を示すのかっていうところの整理が必要かなというふうに認識しております。

2:18:24	以上でございます。コサクです。
2:18:27	先ほどの話で母集団ちゃんと全部あげましょねって言ってますので、全部上げて、
2:18:34	いただけるものだと思ってます。
2:18:36	その上で資料3の中で、スクリーニングKakehiなのか、資料4でスクリーニングをかけるのかというところはありますけど、その辺りも含めてどうしていくのか。
2:18:47	別紙の整理の中で、
2:18:51	話をさせていただいてこの部分でどの程度表すのか方針として見えるようにするのかと、ということかと思えます。よろしくお願いします。
2:18:59	はい。宮野委員高井でございます承知いたしました。
2:19:05	要は、
2:19:08	細かい話で、すみません、書き方的な問題なんですけど、45ページの国内機器配管。
2:19:16	の、
2:19:17	ナンバー27-オクの機器配管の一部、最初二つのポツで冒頭セミにあたる基本設計方針ナンバー2を受けた設計ナンバー5を受けた設計ということで、これ、
2:19:28	二つのポツで書かれてるんですけど、どかー
2:19:31	十分タカダ等、こういうのを一つのポツにまとめて、ナンバー2号を受けた設計っていう書き方にしていると思うので被水の中でもちょっとばらつきあるんですけども、
2:19:42	そこをちょっと方もあわせて整理をお願いします。特に薬品とかも同じようになって、
2:19:49	ハヤマっていうかちょっと書き方をさせて、
2:19:54	全体整理をお願いします。
2:19:57	はい、イノウエの高でございますはい、承知いたしました。
2:20:02	コサクですちょっと補足をすると、竜巻とかそのたの第1部が第一グループのところで話をした階層の整理ですけど、
2:20:12	どちらかという、溢水がすごい見づらくて、ちゃんと繋がってんのかな、これ。
2:20:19	あと複数ルートになっちゃってるぞみたいなのが見受けられたのでその点がないようにっていうので入口からっていうので、コメントしたと。
2:20:27	ということなので、よく確認してですね、今みたいなコメントが出ないように、対応をお願いします。
2:20:37	はい、梅田でございます承知いたしました。
2:20:41	山口です。あと、7、57ページの、

2:20:48	溢水対策設備。
2:20:51	最後のポツですね。
2:20:53	壁扉やは当一斉に雨水水圧及びとSsの地震力に対する耐性を有する設計。
2:21:01	ここ、
2:21:02	構造設計の欄ですね。
2:21:05	体制を有する設計っていうのだと具体的に何を示すのかというのがわからないのでわからないんですけど。
2:21:14	ここはちゃんと具体化して、何を示すかっていうのを記載いただければと思うのでお願いします。
2:21:20	それによって 58 ページに繋がる評価のところでも判断基準としてどういう場所ですかっていうところを、あわせて、
2:21:29	何かお願いします。
2:21:31	はい。
2:21:35	園部。
2:21:37	いわゆるそのくらいです。
2:21:40	明日が溢水で、
2:21:46	63 ページまでとか、
2:21:48	先週はハラ、
2:21:51	国、
2:21:52	よければ、
2:21:55	薬品の方に確認したいと思います。
2:21:59	薬品の方は基本的にはその溢水になってやってるようなところは
2:22:07	大きく受設計項目の抽出漏れはあまりないかなっていう印象で、一方で薬品特有っていうところでちょっと気になる。
2:22:16	福西。
2:22:21	例えばなんですけども、
2:22:24	69 ページ。
2:22:26	で、
2:22:31	ナンバー22 ですね。
2:22:33	薬品をこれは想定します。
2:22:39	想定破損の漏えい元の設定破損箇所の設定っていう項目に対してで、ここ屋外機器配管の欄で最後にその矢印で屋外で想定する。
2:22:52	想定破損による化学薬品の漏えい減がないことを示す。
2:22:57	いまして、やっぱりその一声との違いとしては薬品はそもそももう漏えいさせないっていうところで頑張りますっていうのがあると思うんですけども、

2:23:07	ここその漏えい権がないことを締め数の方針わかったんですけどね具体的にその示す内容の配置設計構造設計評価とかで書かれてるものが
2:23:19	単なる
2:23:20	同じものが書かれてるんですけども、
2:23:25	これ、この辺りって、
2:23:27	どう整理され、
2:23:29	出ますか。
2:23:42	いう原文タカヤでございます。うん。
2:23:46	もうおっしゃる通りで、屋外にないことを、配置と構造でどうやって示すんだというところ、はい。もう、
2:23:53	その通りだと思っております。資料2の段階でこの屋外機器配管で、
2:24:00	やっぱりなあというところ同士、はい、すいません、もう少しちょっと整理をさせていただきたいと思います。
2:24:07	千田ヤマグチです。想定破損においてはもうちょっと上の項目とかで、詳細能力評価によって、破損なして、
2:24:18	できるところもあるんですけどそういうので、詳細評価で結局全部破損なしてというのは確認できるっていうそういう、
2:24:27	従って、
2:24:28	ここではありませんっていう、
2:24:30	説明になるんですから、この
2:24:33	内っていうのって、
2:24:38	ニイツタカヤでございます。屋外機器配管についてはそもそも物理的に、その化学薬品等のものをすいませんコサクです。
2:24:49	ここからの話であればそれで理解できるんですけど、
2:24:54	有毒ガス数の関係からかなと思うんですがタンクローリーも水源に入れますって言った水源というか、漏えい元として入れますって言ったと思うんですけどその関係ってどうなってんですか。
2:25:08	日本へのタカヤでございます。
2:25:11	タンクローリーにつきましては、後のその他溢水のところにタンクローリーとしての水源を考慮するということで29番、
2:25:23	イデでございます。29番のところ、野瀬コウノサンポで見ますと、この日、22番というところ想定破損というところの配管というところについては物理的に化学FPというところが、
2:25:37	いうところでその認識で記載をさせていただきました。以上でございます。

2:25:43	コサクです。それは許可の段階からそういう整理はされてたってことですかね。
2:25:59	日本原燃高屋でございます。はい。許可からの整理だと。
2:26:06	認識をしていますが、少しちょっと各事実確認も含めて確認させていただいて説明させていただきたいと思います。
2:26:14	はい。補足ですすみませんよろしくお願ひしますっていうのも
2:26:17	何ガー。
2:26:20	何が対象範囲なんだっていう先ほど母集団としてそもそも仕分けがされているっていうことになるので、
2:26:27	そ、そこまでちゃんと仕分けの、
2:26:30	形が書かれてたっけかなっていうのがちょっとわからないんで、
2:26:34	それが整理される等今のところはこういう形なのでっていうのが、整理がつくんじゃないかなと思うんでよろしくお願ひします。
2:26:44	はい。植野高でございます。承知いたしました。はい。その中にオオクマイノウエ水源というところの整理も、6日間としてないと思いますのはい。整理させていただき
2:26:56	院長山口です。想定破損以外にも同じような状況なので同様にお願いいたします。野瀬。
2:27:04	明確に
2:27:05	ね。
2:27:07	7、19 ページ。
2:27:13	服飾性ガスの影響に対する評価及び防護設計方針。
2:27:19	D種、
2:27:23	評価最後の評価の項目なんですけども、
2:27:27	統合対象設備に対してガスの拡散による影響により安全機能を損なわないことを評価するっていうのはどう評価するのか、判断基準。
2:27:38	わからないなっていうところで、やっぱりちょっとえっと思ってるのが、基本設計方針で、
2:27:50	書かれてることで、防護対象設備のうち電子部品を有する設備が腐食性ガスの拡散経路以外に設置され、
2:28:00	バスの影響による安全機能を損なわないことを評価するっていうことを書かれてるんですけども、ここ、
2:28:08	評価につなげるために配置設計で示すものがあるんじゃないのかなと思っていたときに、
2:28:16	配置設計では、漏えい検査の位置関係に関する配置情報としか書かれてなくて電子部品の、
2:28:26	毒性ガスの拡散経路オオバの位置関係っていう、

2:28:31	こっからそこを示して評価につなげる必要があるのかなと思うんですけどいかがでしょうか。
2:28:37	はい、植野高井でございます。おっしゃっていただいている通りだと思います。1ポツ、防護対象設備と位置関係というところで、
2:28:49	今出ている、ここはきちんと明確化できてないと思いますので、記載させていただきたいと。
2:28:59	お願いします。
2:29:02	どうぞ。80。
2:29:05	ページ。
2:29:06	なんですけど、
2:29:10	26 ページで、対策設備の機器収納ボックス及び二重管の
2:29:16	設計なんですけども、
2:29:22	構造設計の二つ目のポツで、
2:29:25	これらは腐食また劣化に起因する化学的損傷とあと及びSsの地震力に対する耐性を有する設計。
2:29:34	を示し、構造設計として示しますってなってるんですけど、これが
2:29:40	設計方針には、
2:29:43	下明確に書かれてなくて他の対策設備とかだったか。
2:29:49	見えてるんでその前の項目とか見ていただいたらわかると思うんですけど。
2:29:53	これ一がもし必要な設計、
2:29:57	なのであれば何で基本設計方針に書かれてないのかなっていうのをちょっと確認させていただきたいんですけども。
2:30:04	いかがですか。
2:30:20	はい、イノウエの高井でございます。はい。
2:30:23	少し、基本設計方針との関係とか、まずは要求事項として必要性というところを確認をさせていただいて、はい。そういう基本設計方針の
2:30:35	に記載するかどうかというのは、整理させていただきたいと思います。
2:30:39	はい。
2:30:43	山口です。確認されるってということで、
2:30:47	輸入ぼっシノとピラーとかセキとかあと他の。
2:30:52	前の項目とかは、基本設計方針に書かれてて、
2:30:57	大事な設計項目として示す展開されてるので、そこはちょっとよくわからなかったのもので、
2:31:06	まずは確認してってということなんだろう、お願いします。
2:31:12	ちょっとおつきなところで薬品。以上ですが、
2:31:16	規制庁はプラ薬品で確認ございますでしょうか。

2:31:23	規制庁の岡です。ちょっと軽微な確認なのですが、87 ページ目、47 番、センミョウミツイというのはちょっとセンミョウ野瀬。
2:31:32	0
2:31:33	構造設計で示しますってあるんですが、
2:31:37	今まで聞いた話ではこういう設備は、
2:31:40	ないですっていうふうに思って聞いてたんですが、
2:31:44	ここって、結局どうなりましたか。
2:31:53	植野高谷でございます。現状ないと考えております。その上で資料 230 ドイに、資料 2 でどうやって記載するかというところが、少し整理させていただいて、
2:32:04	先ほどの記載と整合をとれていないのであり、
2:32:07	整理させていただきます。現状はないと考え、
2:32:10	はい。
2:32:12	議、えっと審査していく中で出てくるかもしれないですが、はい。とりあえず現状わかりました。
2:32:21	規制庁山口です。確かにこの金曜ないって話聞いてたときに、結構位置関係、
2:32:27	例の説明もあったので、読まないってことを説明する上でもそういうところは必要だと思うので。そうですね。ページの方お願いします。
2:32:40	こちらの資料に関して、
2:32:42	規制庁側からございますでしょうか。
2:32:51	はちょっと現側から振り返りお願いしたいんですけども、このまんま、
2:32:56	できますかそれとも、
2:32:59	清理事が必要でしょうか。
2:33:05	ヤギのタカヤでございます。少しお時間をいただければと思います。
2:33:10	五分前のヤマグチです 5 分 10 本ぐらいですか十分。
2:33:15	はい。
2:33:16	なるほど。余分で結構です。
2:33:21	時に再開しますので一旦録音停止し、
0:00:01	再開しました。衛藤それでは原燃から振り返りをお願いします。
0:00:08	はい。日本原燃の高谷でございます。本日の溢水と化学薬品に関するところの振り返りをさせていただきます。まず本文全体でございますが、
0:00:20	こちらの方ではですね本来本日の趣旨はやっぱり設計項目というところ、どう展開するかというところのご説明をしたいと。
0:00:29	ミナガワの本部のところで個別説明のところ、基本方針で示すとかいうところとか、何を示すかっていうところっていうところが不明確な記載になっていた。

0:00:41	あとはですね資料3 資料4 で示すというところにつきましても、具体的にどのように示すかというところを、添付1 添付2 のまとめというところでは
0:00:54	足りてない記載もありますので、
0:00:56	それについて記載を明確化させていただくこと、目的、設計項目の抽出をしないようにすべきかということ、しっかり記載をさせていただきたいというふうに思っております。
0:01:08	続いて別紙の1-1 ですがここ、この後も続きますが、まず全体としてですね、募集全体の母集団がどうなのかというところと、そもそも、どういった理由で評価対象が漏れてしまったかと。
0:01:26	いうところ、その全体像というところをお示しできていなかったというところだと、いうふうに思っております。その上で原因もない中で対策これで良いかっていうところについては、
0:01:38	何をしているかというのが不明確であったというふうに認識しておりますので、まずは評価すべき対象というかまず、防護対象設備とはというところの、
0:01:49	選定するというところの考え方の全体像をお示しをしたいと。
0:01:53	いうふうに考えております。
0:01:56	その中でですね抽出するっていうところを表の1-1 でですね、評価対象外というところと、
0:02:04	対象外に凸力設備と、
0:02:06	いうふうに記載しているものの、かなり粗くメッシュが悪くなっておりますので、契機に、
0:02:13	どこにおいてもその動的基金というところの扱いなのかとかいうところを、例示も含めてですね、対象が対象外とするところについて、きちんと安全機能は損なわない。
0:02:26	候補だからというところを、しっかりと整理したいと思っております。
0:02:31	その上で表1-2 というところについての機種ごとに整理してますが、今は附属機器の有無というところでしか記載をしておりませんが、
0:02:42	そこについてもこの機種においてどのような、
0:02:46	機能主喪失に至るというところが何なのかというところ、安全機能を落ち込まないというところを観点を整理した上で、確認対象というところを整理していきたいというふうに考えております。
0:03:01	加えて見解接続とかイメージとしてババんと、添付するだけになりますので、それに対してどのように何を確認していくのかというところがきっちり明記をさせていただきたいというふうに思っております。

0:03:15	次、1-2、別紙 1-2 ですが先ほどにですねまず全体として、屋外水源としてなりうるものってところが、何があるのかっていうところを、
0:03:26	全体像を列挙した上で、
0:03:29	その上で除外するものというところの考え方ってところを整理していくというものをきちんとやりたいと思っております、その上でですね今回、このマスキングというところ、
0:03:44	本来、配置図というところについては公開情報ですが、そこがマスキングしたというところで、しっかりと福祉このマスキングの過去にもコメントをいただいているにもかかわらず、改めてバスケットの
0:04:00	ご主人になってしまったなと思いますので、その例をきちっと確認をしていきたいというふうに思っております。
0:04:09	その流れでですね広域評価を行っていくところと、特殊要素を行っていくところ、なぜこの対象の局所評価を行うのかというところ、全体、上流からの流れっていうところ。
0:04:23	をきちんと整理、説明できていなかったのも、事項をきちっと改めてご説明をさせていただきたいなというふうに考えている次第でございます。
0:04:33	1-3 でございます。ここにつきましてはまさにの論点というところがとか整合という観点でありながらも、
0:04:43	結果と違うもん 6 分ってところをちょっと一部記載してしまったというところで、それはそもそも、説明するもの、対象に対して、もう
0:04:53	この整理っていうか
0:04:57	記載すべき内容というところが、根本的に間違ってるっていうところは、ユリを多分果たさないといけないというところで、
0:05:05	もうきちんと許可整合という論点に対してどのように許可がなっているのかというところと、今、設工認でどうしようとしているのかっていうところは、正確に、
0:05:16	急いするようにさせていただきたいと思っております。
0:05:19	その中で本日のDBせ項目の設計項目の中でですね、SAのところの記載というところをさせていただいて、
0:05:28	おりますので、素行は記載したアノイトウというところを明確した上でですね、きちんとメニューを説明するのかというところを明確にさせていただきたいというふうに考えております。
0:05:43	はい。
0:05:45	あと、資料 1-4 につきましてはそもそもの説明する項目というところで、設計をご説明するって言っている中で、
0:05:57	そのまま、漏えい検知の工法、

0:06:00	をそのまま列挙しているというところで、ピントがずれているというところをご指摘をいただきました。本来セーリングとして、そのハンドリング、やっぱ設計をどう説明していくかというところに、
0:06:15	こう修正できなかったというところは制定でございますので、そこにつきましては、漏えい検知に関するところ、隔離に関するところを、どういう設計でやってるのかというところを、
0:06:26	まず説明する。もちろん資料 3、4 というところでどのような形で説明するかというところを整理をさせていただきたいと思います。
0:06:35	またですね、イソベと制御盤のところでケーブルが繋がっていて、信号が出てるようなところ、実際は実態としてですね制御盤から出ているというところ、こういう実態に、
0:06:47	合わせてですねその設備の設計というところのうちの、きちんとチェックをしていただきたいなというふうに考えており、
0:06:58	はい。
0:06:59	衛藤。それと転倒石と添付 2 例でございます。
0:07:09	一部ですね、屋外機器配管とかです。ですねどういう確認範囲の系統保有するとか、19 番でございますがそういうところは、
0:07:21	ご指摘をいただきました。また、22 番とか、その他の溢水というところ、木戸駅少々個人的担当とか、そういうところも含めてというところなんですがここは、
0:07:33	別紙 1 の運用、全体を整理することで、何を配置設計に示さないといけないかというところが見えてきますので、そこは明確化をさせていただきたいというふうに思います。
0:07:45	またですね 27 番等で例示をいただきましたが、冒頭宣言に関わる記載方法、
0:07:52	これは
0:07:55	資料内でも濡れている部分があって非常に関係性がわかりにくいというところ、ご指摘いただきました。おっしゃる通りだと思っておりますので、その記載方法は明確になるように、
0:08:06	11 ページをさせていただきたいと。
0:08:11	いうふうに考えております。
0:08:16	衛藤。
0:08:24	臨空化学薬品でございますが、
0:08:30	こちらのこれまでのコメントと、イノウエになります。36 番とか 79 ページ 36 番とかで、化学薬品の防護対象設備としての配置設計ということを書いたりながら、

0:08:45	基本設計方針書いてある電子部品を有する設備というところの、に関する設計というところは明確になっていないというところなどがありましたのでちょっと適正化をさせていただきたい。
0:08:57	報告のところも含めてですね、そういう観点がないかというところをチェックしたいと、いうふうに思います。
0:09:08	衛藤阿藤施策最後ですね 87 ページ、47 番としてSEの兼用掛け金と兼用というところについては規制が他のを
0:09:19	持っているというところで
0:09:23	対象設備がなければもう退職者数がないというところをどう変えていくかって言うところの整理を、ほぼもう一方の、
0:09:35	2、ところの 1、
0:09:39	対象がないものかどうかというところの整理というところを、きちんと記載を明確にさせていただきたいと思います。
0:09:46	はい。振り返り以上でございます。
0:09:50	規制庁山崎です。
0:09:54	クニマサについては、私あると思うので、
0:09:58	何とかまた下の進め方できてるかと思うのでよろしくお願いします。
0:10:03	全体を通して大阪支店長側からございますでしょうか。
0:10:10	よろしければこれでヒアリングを終了しますので録音を停止します。